

Impacting the World

西南学院大学

西南学院中学校・高等学校

西南学院小学校

舞鶴幼稚園

早緑子供の園

# 2015(平成27)年度 学校法人西南学院 事業報告書

一粒の麦から、次の100年に向かって



 西南学院

## 西南学院の使命

学校法人西南学院は、「キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて、真理の探求および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人材を育てることを使命とする。

Mission Statement  
of  
Seinan Gakuin Educational Foundation

Seinan Gakuin, an educational institution endeavoring to be true to Christ in the pursuit of truth in academic affairs and excellence in character development, strives to equip and nurture students to serve as creative and constructive leaders in local communities and in an expanding global society.

# 目 次

2015(平成 27)年度学校法人西南学院事業報告書について	1
<b>I. 学校法人西南学院の概要</b>	
1. 沿革	2
2. 組織図	4
3. 理事・監事・評議員	5
<b>II. 事業の概要</b>	
1. 各学校・園概要報告	
(1) 学院本部	6
(2) 大学	11
(3) 中学校・高等学校	17
(4) 小学校	21
(5) 舞鶴幼稚園	22
(6) 早緑子供の園	23
2. トピックス	
(1) 各学校・園行事	26
(2) 認可・認定・届出	30
(3) 名誉顧問・名誉教授・名誉博士	31
(4) 学位授与	32
3. データ	
(1) 学生・生徒・児童・園児数	33
(2) 教職員数	35
(3) 入学試験日程	36
(4) 入学志願者数及び合格・許可者数	38
(5) 卒業生数	40
(6) 大学卒業生就職状況	41
<b>III. 財務の概要</b>	
1. 資金収支計算	42
2. 活動区分資金収支計算書	43
3. 事業活動収支計算書	44
4. 貸借対照表	45
5. 財務比率などの推移	45
6. 財務比率比較表	49
7. 学生生徒等納付金一覧表	51

## 2015(平成 27)年度学校法人西南学院事業報告書について

学校法人西南学院は、2004(平成 16)年以降、当該年度における事業並びに財務の概要を事業報告書としてとりまとめ、2006(平成 18)年度からはその報告書を広く一般にも公開している。2009 年度事業報告書からは、年度初めに策定する事業計画書と内容的な相対性を持たせ、学院の各学校・園における事業の概要がより分かり易い構成となっている。

2010 年 4 月に開校した西南学院小学校の新設によって、西南学院は保育所、幼稚園から大学、大学院までを一貫して備える西日本でも数少ない学校法人となった。各学校・園での教育は、創立時から現在に至るまで建学の精神「西南よ、キリストに忠実なれ」を基としており、2009(平成 21)年からは、更に「21 世紀の西南学院のテーマ“Impacting the World”」を定め、2016(平成 28)年に迎える創立 100 周年に向けた取り組みを学院の内外にて行っている。

本報告書は、Ⅰ. 学校法人西南学院の概要、Ⅱ. 事業の概要、Ⅲ. 財務の概要の 3 部から成り、Ⅱ. 事業の概要においては各学校・園の主要な事業、トピックス及びデータを掲載している。なお、本報告書は、2015 年度内のものを基本としており、以下の内容においては、それぞれ次の時点のものである。

沿革： 2016(平成 28)年 3 月 31 日現在

組織図： 2016(平成 28)年 3 月 31 日現在

理事・監事・評議員： 2016(平成 28)年 3 月 31 日現在

名誉顧問・名誉教授・名誉博士： 2016(平成 28)年 3 月 31 日現在

学位授与： 2016(平成 28)年 3 月 31 日現在

学生・生徒・児童・園児数： 2015(平成 27)年 5 月 1 日現在

教職員数： 2015(平成 27)年 5 月 1 日現在

入学試験日程： 2016(平成 28)年度入試 (2015(平成 27)年度実施の入試)

入学志願者数及び合格・許可者数、卒業生数： 2016(平成 28)年 3 月 31 日現在

大学卒業生就職状況： 2016(平成 28)年 5 月 1 日現在

Ⅲ. 財務の概要においては、2015(平成 27)年度の資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表に加え、帰属収入と帰属収支差額、消費収支計算書の財務比率、貸借対照表の財務比率、各種引当資産等に関する推移も掲載している。また、学生生徒等納付金一覧を巻末に付記している。

# I. 学校法人西南学院の概要

## 1. 沿革

西暦	元号	年	月	内 容
1916	大正	5年	2月	私立西南学院設立(福岡市大名町105番地)
			4月	西南学院開院式
			11月	私立西南学院を私立中学西南学院と改称
1918		7年	1月	早良郡(現福岡市)西新町に移転
1920		9年	7月	私立中学西南学院を中学西南学院と改称
1921		10年	2月	財団法人私立西南学院財団設立
			4月	西南学院高等学部(文科、商科)設置
			6月	中学西南学院を西南学院中学部と改称
1923		12年	4月	高等学部神学科増設
1939	昭和	14年	4月	西南学院商業学校設置
1944		19年	4月	西南学院高等学部を西南学院経済専門学校と改称、西南学院商業学校を西南学院工業学校に転換
1946		21年	4月	西南学院工業学校が西南学院商業学校となる、西南学院経済専門学校を西南学院専門学校と改称
1947		22年	4月	西南学院専門学校第二部(英文科、経済科)増設、新制西南学院中学校設置
1948		23年	4月	新制西南学院高等学校設置
1949		24年	4月	西南学院大学学芸学部(神学専攻、英文学専攻、商学専攻)設置
1950		25年	4月	西南学院大学短期大学部(児童教育科、第二部:英語科、商科)設置
			4月	舞鶴幼稚園(大正3年3月設置認可)および早緑子供の園(昭和24年6月開設)を西南学院に合併
1951		26年	2月	財団法人私立西南学院財団を学校法人西南学院へ組織変更
			4月	大学学芸学部を文商学部と改称
1954		29年	3月	西南学院専門学校廃止
			4月	大学文商学部を文学部(神学科、英文学科)と商学部(商学科)に分離、文学専攻科(神学専攻、英文学専攻)および商学専攻科(商学専攻)設置
1962		37年	3月	短期大学部第二部(英語科、商科)廃止
			4月	西南聖書学院設置、大学商学部経済学科および商学専攻科経済学専攻増設
1964		39年	3月	大学商学部経済学科および商学専攻科経済学専攻廃止
			4月	大学経済学部(経済学科)および経済学専攻科(経済学専攻)設置
1965		40年	4月	大学文学部外国語学科増設
1966		41年	3月	大学文学部(神学科)および文学専攻科(神学専攻)廃止
			4月	大学神学部(神学科)および神学専攻科(神学専攻)設置、商学部経営学科増設
1967		42年	4月	大学法学部法律学科設置
1969		44年	4月	大学文学部外国語学科を英語専攻とフランス語専攻に分離、文学専攻科に英語専攻およびフランス語専攻増設
1970		45年	4月	大学商学専攻科経営学専攻増設
1971		46年	4月	大学院法学研究科法律学専攻修士課程設置
			6月	大学国際交流制度発足
1972		47年	3月	大学商学専攻科経営学専攻廃止
			4月	大学院経営学研究科経営学専攻修士課程設置
1973		48年	4月	大学留学生別科設置
1974		49年	4月	大学院法学研究科法律学専攻博士課程および経営学研究科経営学専攻博士課程並びに大学文学部児童教育学科増設
1975		50年	3月	短期大学部(児童教育科)および西南聖書学院廃止
1976		51年	4月	大学文学部国際文化学科増設、大学院文学研究科英文学専攻修士課程およびフランス文学専攻修士課程設置
1978		53年	3月	大学文学専攻科(英文学専攻、英語専攻、フランス語専攻)廃止
1980		55年	4月	大学文学専攻科(国際文化専攻)設置、大学院文学研究科英文学専攻博士課程およびフランス文学専攻博士課程増設
1981		56年	4月	大学院経済学研究科経済学専攻修士課程設置

西暦	元号	年	月	内 容
1985	昭和	60年	4月	博物館学芸員課程設置
1988		63年	4月	大学経済学部経済学科を経済学専攻と国際経済学専攻に分離、大学神学部神学科に神学コースおよびキリスト教人文学コース設置
1992	平成	4年	4月	大学法学部国際関係法学科増設
1994		6年	4月	西南学院高等学校男女共学へ移行
1996		8年	4月	西南学院中学校男女共学へ移行、西南学院中学校・高等学校一貫教育実施
1997		9年	4月	大学院文学研究科国際文化専攻修士課程増設
2000		12年	4月	大学院文学研究科国際文化専攻博士課程増設
2001		13年	4月	大学文学部社会福祉学科増設
2004		16年	4月	大学院法務研究科法曹養成専攻(法科大学院)専門職学位課程設置
2005		17年	3月	大学文学部児童教育学科、社会福祉学科および経済学部経済学科の2専攻(経済学専攻、国際経済学専攻)廃止
			4月	大学人間科学部児童教育学科、社会福祉学科設置および経済学部国際経済学専攻増設
			4月	大学院神学研究科神学専攻修士課程および人間科学研究科人間科学専攻修士課程設置
2006		18年	3月	大学文学部国際文化学科、文学専攻科(国際文化専攻)および大学院文学研究科国際文化専攻博士課程廃止
			4月	大学国際文化学部国際文化学科および大学院国際文化研究科国際文化専攻博士課程設置
2007		19年	4月	大学院神学研究科神学専攻博士課程および人間科学研究科人間科学専攻博士課程増設
2009		21年	4月	大学院経済学研究科経済学専攻博士課程増設
2010		22年	4月	西南学院小学校開設
2012		24年	4月	大学人間科学部心理学科増設



### 3. 理事・監事・評議員

[2016(平成28)年3月31日現在]

◎理事長 ○常任理事

職名	系 列	氏 名
理 事 (定数22名) 現員21名	院 長	◎ G.W. ハークレー
	学 長	○ K. J. シャフナー
	高等 学 校 長	○ 中 根 広 秋
	中 学 校 長	[ 中 根 広 秋 ]
	小 学 校 長	○ 和 佐 野 健 吾
	事 務 局 長	○ 高 良 研 一
	副 学 長	中 馬 正 博 石 森 久 広
	大学部長会議構成員	福 浦 幾 巳 小 山 雅 亀 ○ 村 岡 伸 秋
	牧 師 系 列	三 田 照 雄 踊 一 郎 奥 田 知 志 平 良 憲 誠
	評 議 員 系 列	井 上 哲 雄
	卒 業 者 系 列	秀 島 正 博 田 川 大 介
	学識経験者系列	北 村 慎 二 松 原 照 明 松 本 素 代 美 酒 見 啓 祐
監事(定数2名) 現員2名		中 村 一 也 吉 田 雅 俊
評 議 員 (定数50名) 現員46名	院 長	G.W. ハークレー
	学 長	K. J. シャフナー
	高等 学 校 長	中 根 広 秋
	中 学 校 長	[ 中 根 広 秋 ]
	小 学 校 長	和 佐 野 健 吾
	宗 教 局 長	[G.W.ハークレー]
	事 務 局 長	高 良 研 一
	副 学 長	中 馬 正 博 石 森 久 広
	大学部長会議構成員	福 浦 幾 巳 小 山 雅 亀 村 岡 伸 秋 中 村 奈 良 江
	高等 学 校 教 頭	早 川 寛
	中 学 校 教 頭	山 内 芳 広
	小 学 校 教 頭	宮 崎 隆 一
	高等 学 校 宗 教 主 任	坂 東 資 朗
	中 学 校 宗 教 主 任	宮 崎 宗 親
	幼 稚 園 長	井 上 哲 雄
	保 育 所 園 長	[和佐野 健吾]
	事務部長会議構成員	坂 井 啓 佐 藤 誠
	牧 師 系 列	三 田 照 雄 踊 一 郎 奥 田 知 志 平 良 憲 誠 友 納 靖 史 渡 邊 し の ぶ
	卒 業 者 系 列	崔 白 雲 藤 井 千 佐 子 秀 島 正 博 伊 原 幹 治 川 内 光 中 村 晴 光 大 崎 完 治 田 川 大 介
	学識経験者系列	北 村 慎 二 小 早 川 晶 松 原 照 明 松 本 素 代 美 宮 崎 信 義 向 谷 章 酒 見 啓 祐 綿 貫 真 理 山 本 光 吉 田 扶 久 子
教 職 員 系 列	大 杉 晋 介 須 藤 伊 知 郎 土 田 珠 紀	

注:各系列内はアルファベット順。

注:[ ] は兼務を示す。

## Ⅱ. 事業の概要

### 1. 各学校・園概要報告

#### (1) 学院本部

##### A. 本学院の保育・教育の特色及び研究の強化

##### ① 建学の精神に基づく全人格的教育・保育の提供

##### i. 学院聖句の学院内における浸透

2015年度学院聖句 — イエスを見つめる Fix our eyes on Jesus —  
ヘブライ人への手紙 12章2節

##### ii. 建学の精神の教職員への浸透

- ・教職員クリスマス(2015年12月9日) 献金額 232,069円
- ・西南学院朝の祈り会(原則毎月第1水曜日)
- ・アルファ・コース(キリスト教入門講座、年2回)

##### iii. 宗教局関連の刊行物の発行

キリスト教についての理解を深めてもらうことを目的として、「宗教局報告」、  
「宗教局報」、「西南学院とキリスト教」を発行した。

##### iv. キリスト教精神の地域への浸透

##### a. 学院コンサートの開催

- ・塚谷水無子「オルガンコンサート～バッハ ア・ラ・カルト」(2015年5月23日)
- ・ユルンヤコブ・ティム、阿部真弓「チェロとピアノのデュオコンサート」(2015年10月24日)
- ・田島高宏・田島ゆみ「ヴァイオリン&ピアノデュオコンサート」(2015年11月21日)
- ・安積道也音楽主事、ラ・フォンテヴェルデ、アンサンブル・ブリンチピ・ヴェネツィアーニ「チャペルコンサート2016 北ドイツ・バロックの響き～パイプオルガンとカンタータの世界」(2016年1月11日)

##### b. 学院クリスマス行事の実施

- ・西南学院コミュニティークリスマス(2015年12月18日) 献金額 168,043円

##### v. 市内近郊キリスト教会との懇談会の実施

地域の諸教会との懇談会を開催し、約40教会より39名と学内関係者19名が参加し、講演と活発な意見交換が行われた。

##### ② 建学の精神に基づく一貫教育による国際的な能力を育成するための教育の推進

各学校・園・保育所では、チャペル等の時間を設けて日常的にキリスト教主義に基づく人格教育を行うとともに、小学校におけるオーストラリアへの修学旅行や中学・高等学校におけるアメリカ及びオーストラリアへの研修旅行をはじめ、各年齢段階に応じた語学教育、研修・留学の機会を設けて、語学力及び国際的に活動できる能力の育成に努めた。

##### ③ 教育・研究の強化のための資金の充実

大学では、大学給付奨学金4,387万円、緊急支援奨学金787万円を支給し、経済

的な事情で学費の支弁が困難な学生への奨学金事業を実施した。また、本学初のメリットベースの奨学金として、2011年度に創設された「成績優秀者奨学金制度」を維持・継続し、学業をさらに奨励することを目的として1,360万円を支給した。さらに、本学教職員からの寄付金を原資とした「西南学院大学教職員による奨学金」は、2015年度寄付総額334万円のうち、本学大学生8名に対して300万円(後期授業料相当額375,000円×8名)を支給し、受給した学生から感謝に満ちた報告書が届いている。なお、中学校・高等学校では奨学基金を1億円増額(累計額5億円)し、運用収入を財源とした奨学金の拡充を検討している。

管理経費については、消費者物価指数上昇下においても前年度比±0%として抑制に努めた。

## B. 西南学院のビジョンに基づく中長期計画の策定

2014年12月に策定した「西南学院ビジョン 2016-2025」を具現化するため、各学校・園・保育所において検討を重ね、2015年12月に「中長期計画 2016-2025」を策定した。中長期計画の策定においては、学院が擁する保育所、幼稚園、小学校、中学校・高等学校及び大学のすべてにわたって、一人ひとりを大切にされた保育・教育を続けるため、「ビジョン実現に向けた課題」と「アクションプラン」を議論し、精査したものを取りまとめた。

今後は、建学の精神と西南学院の使命を踏まえた「ビジョン」、ビジョンの実現に向けた「中長期計画」、そして、中長期計画を具体化した「単年度事業計画」を連動させることにより、建学の精神から現場業務まで繋がる一貫性のもと、学院の諸活動を推進していく。

## C. 学院創立100周年に向けた事業の推進

学院創立100周年に向けて、4つの基本コンセプトに基づいた様々な事業を展開している。

### ① 事業関係

- ・創立100周年記念式典準備部会(中学校・高等学校・大学の各同窓会推薦の委員及び本学職員により構成)を中心とした記念式典行事に係る計画策定
- ・西南100th Dream Planners(本学の学生や高校生により構成)による地域連携型の清掃プロジェクト、西南浴衣デイ、記念式典までのカウントダウンの実施、10,000枚モザイクアート、オリジナルパーカー制作
- ・西南学院百年館(松緑館)の竣工

### ② 行事関係

- ・読書教養講座(為末 大氏:2015年7月11日、約400名参加/道尾 秀介氏:2015年12月3日、約140名参加)
- ・西南学院フェア(2015年7月1日~8月2日)
- ・ウォルト・ディズニー・カンパニー アジア プレジデント ポール・キャンドランド氏講演会(2015年7月10日、約450名参加)
- ・ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム 次世代へのメッセージ「エボラ出血熱と闘う」(2015年10月4日、約500名参加)
- ・東山彰良氏第153回直木賞受賞記念講演会(2015年11月14日、約350名参加)

- ・KBC ラジオ公開録音 直木賞作家 葉室麟×東山彰良 トークライブ(2015年12月13日、約600名参加)
  - ・ビブリオバトル学内予選、高校生ビブリオバトル九州山口地区決戦(2015年10月27日、11月8日)
  - ・「風音2015」コンサート(2015年10月3日、約800名参加)
  - ・創立100周年記念学術フォーラム・シンポジウム  
「“ともいき”のちからで、学ぶ喜び、生きる喜びを!!」(2015年4月25日、約480名参加)  
「国連デーin西南学院」(2015年11月29日、約130名参加)  
「西南学院百年史を編む」(2015年10月24日、約200名参加)
  - ・西南学院プレゼンツお話アカデミー(2015年7月～2016年3月、約1,400名参加)
  - ・第10回西南リコーダー・フェスティバル(2015年11月7日、約130名参加)
  - ・西南学院オラトリオ・アカデミー2015(2015年10月31日、11月1日、計約1,000名参加)
  - ・学院史企画展Ⅱ「西南学院を支えた宣教師とキリスト者たち」(2015年4月1日～5月29日)
  - ・西南学院大学体育OB・OG会・学校法人西南学院共催 創立100周年記念リレーマラソン「さあ走り出そう、次の100年へ！」(2015年10月31日、438名参加)
  - ・第2回西南学院大学学文会OB・OG連合会美術展(2015年11月10日～15日、約1,000名来場)
- ③ 広報関係
- ・大学卒業生向け広報誌(Re:SPIRIT)発行(毎年3月) 59,000部
  - ・100周年新聞広告(2016年まで創立記念日に毎年掲載/6紙:西日本、読売、朝日、毎日、日経、熊日)
  - ・100周年記念キャンパス装飾(バナーフラッグ、サイン看板/継続)

#### D. 校友行政の充実

##### ① ネットワークの構築

退職教職員の名簿データを整理・追加するとともに、定年退職者には毎月、月報や広報誌等を、中途退職者には年1回、クリスマスカード等を送付した。また、広報課において同窓生名簿データの構築を行った。

##### ② 同窓会との連携

中学校、高等学校及び大学の各同窓会と「西南学院・同窓会連合会協議会」及び「西南学院・同窓会連合会協議会実行委員会」を組織し、定期的に協議の上、100周年事業や100周年記念募金事業等を協力して推進した。また、高等学校・大学の同窓会各支部総会、大学の各種団体総会及び女子同窓会総会等に出席し、ネットワークづくりを行った。

##### ③ 100周年記念募金事業の推進

教職員、同窓生、退職教職員、在学生の保護者等に募金の依頼を行い、募金目標額30億円に対し、2016年3月31日現在で約7億6千万円の寄付をいただいている。また、福岡をはじめ、九州・東京等の企業や同窓生が代表取締役を務める企業等を訪問し、100周年事業の説明を行うとともに募金依頼を行い、企業とのネットワー

クづくりを推進した。

#### E. 防災対策の推進

##### ① 防火・防災避難訓練の充実

各学校・園・保育所において消防計画に基づき避難訓練を実施し、学生・生徒・児童・園児、教職員の防災に対する意識の向上を図った。なお、本館では竣工後、初めて防火避難訓練を実施した。

##### ② 防火・防災管理の強化

大学においては「西南学院大学防火・防災管理規程」を改正し、自衛消防隊本部隊の班編成を見直し、西南学院百年館(松緑館)及び田尻グリーンフィールドの防火・防災責任者等の担当者を追加した。

##### ③ 防災物品・備蓄物品の計画的整備

危機発生時、災害対策本部が3日間程度活動できることを前提に優先度の高い備蓄品として、2015年度予算において除菌、抗ウイルス製剤、マイクロファイバー毛布、スペースブランケット、オールウェザーブランケットを年次計画で調達した。

また、福岡市と災害時の施設等利用協力に関する協定書を、西新校区自治協議会と災害時の一時避難所使用に関する協定書を、西南学院大学生生活協同組合及びずらんフーズと災害時の相互協力に関する協定書を、それぞれ締結した。

#### F. エコキャンパスの促進

常任理事会においては、各学校・園・保育所のエネルギー使用状況に関する報告を毎月受けており、環境問題・温暖化対策推進の施策決定に活用している。

また、建物の新築時や改修時には、消費エネルギーを極力抑えるための工夫を行った。具体的には、LED照明や人感センサーの導入、吹抜空間を利用した換気システムの導入、床幅射空調の採用、再生水利用(トイレの洗浄水)等が挙げられる。西南学院百年館(松緑館)や新図書館(2016年竣工予定)には上述した高効率機器が導入されており、また一部の建物においては、廊下照明の人感センサーが導入されている。これらの高効率機器の導入により、エネルギー使用量に関して一層の削減が期待される。

#### G. 健全な財政基盤の確立

2013年度から学院創立100周年記念募金を開始し、今年度は3億3,673万円を受け入れた。また、私立大学等経常費補助金に関して、各部署が作成した申請書類の内容の検証や未申請項目における申請可能性の検討を行うために、「経常費補助金コンシェルジュ」を設置し、補助金の増額を目指して計5回の会議を実施した。

2015年度の予算執行に当たっては、一定の基準を設定し、工事等の発注において経費削減に努めた。特に、新築物件においては、建築顧問と内容を協議しながら見積額の精査を行い、大幅な経費削減に努めた。物品購入については、株式会社キャンパスサポート西南を活用してさらなる支出の削減に努めている。また、2号基本金として、大学体育館2億円、大学西南会館5,000万円、大学新図書館5億円、大学新講義棟2億5000万円、大学新学術研究所1億5000万円及び中学校・高等学校空調設備4,500万円を積み立てた。

## H. 東京オフィスの充実

関東圏における就職活動の拠点として、就職活動中の学生約 300 名が利用した。また、人間科学部小林隆児教授を講座責任者とした公開講座(2015 年 7 月 11 日、9 月 26 日、計約 125 名参加)、TBS テレビ報道局解説・専門記者室長の杉尾秀哉氏による講演会(2015 年 8 月 6 日、約 260 名参加)、元 TBS アナウンサーの海保知里氏と RKB 毎日放送アナウンサー 4 名によるクリスマス朗読会(2015 年 12 月 20 日、約 210 名参加)など様々な取り組みを実施した。

新たな取り組みとして、西南学院のブランド向上に向けた情報発信強化のため、各界をリードする有識者の方々に多角的な視点から提言をいただく、「西南学院ブランディングサポートチーム」を発足した。第 1 回会議を 2015 年 10 月 9 日に開催し、会議で出された提言を受け、2016 年 3 月 11 日に東京のマスコミ関係者を招いたマスコミ・西南学院懇談会を開催し、本学のボランティア活動や創立 100 周年記念事業、東京オフィスの活動状況等を紹介するとともに、意見交換を行った。

## (2)大学

### A. 教育と研究の充実と強化のために

#### ① 人格教育の強化

##### i. 大学宗教部活動の充実

- a. チャペルアワーの実施(前期：4月～7月、後期：9月～1月)
  - ・教育プログラムの一環として、毎週火曜日～木曜日(10時35分～11時の25分間)に全学生を対象に実施した。
- b. キリスト教フォーカス・ウィークの実施
  - ・春季(2015年6月2日～6月4日)  
中村 哲氏(医師、ピース・ジャパン・メディカルサービス総院長、ペシャワール会現地代表、西南学院中学校卒業生)  
下稲葉 康之氏(社会医療法人 栄光会 栄光病院 理事長・名誉ホスピス長)
  - ・秋季(2015年11月24日～11月26日)  
松谷 信司氏(キリスト新聞社「Ministry」編集長)  
Migiwa氏(シンガーソングライター)
- c. その他行事の実施
  - ・クリスマスツリー・ディスプレイ点灯式(2015年11月27日)
  - ・公開演奏会：Migiwaクリスマスコンサート(2015年11月27日)
  - ・キャンドルサービス(2015年12月24日)
  - ・オルガニストとの懇談会(2016年2月10日)
  - ・宗教部リトリート(2016年2月17日)
  - ・第45回ファカルティ・リトリート(2016年2月24日)
  - ・卒業礼拝(2016年3月18日)

##### ii. ボランティアセンターによる働きの推進

- ・東日本大震災ボランティア(2015年8月～2016年3月、岩手県・宮城県)
- ・東日本大震災復興支援活動(義援金、チャリティコンサート、パネル展示、委託販売、手芸用品・クリスマスカード・西南水等の送付)
- ・海外ボランティア・ワークキャンプ(2016年2月26日～3月7日、フィリピン)
- ・学生サポーター(小学校、中学校、幼稚園、特別支援学校への学生派遣)
- ・ストプロ★寄附本プロジェクト 寄附本回収冊数7,941冊(累計23,896冊)  
寄附金額 187,167円(累計688,771円)
- ・学生ボランティアの登録
- ・久山療育園(開園祭ボランティア、チャリティコンサート)
- ・ボランティア講座(ノートイク講座、国際協力入門講座、災害ボランティア講座)
- ・合同説明会(NGO合同説明会、学内各部署ボランティア募集説明会)
- ・他機関との連携による活動(福岡県、福岡市、NGO団体、NPO団体)

#### ② カリキュラムの充実(体系的・構造的な教育課程の編成と共通教育の整備)

各学部・学科・専攻単位において、ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)を基に、カリキュラム・マップの作成を進めた。また、併行して、学生便覧掲載の履修モデ

ルを基に、新しい履修モデルの整備を進めた。カリキュラム・マップ及び履修モデルは、今後、検討及び調整を進めて公表する予定である。

また、共通教育検討委員会からの答申に基づき、共通教育委員会の設置について所定会議へ上程し、設置の方向性が了承された。

### ③ 教育内容・方法の充実(キャリア形成支援の充実)

これまで正課外プログラムとして展開していたキャリア形成支援をさらに強化するため、学部教育における正課科目で開講すべく、1年次の「基礎演習」の時間にキャリアセンターから「キャリアデザイン講座」(3コマまたは1コマ)を提供した。実施学部は商学部(2学科)と人間科学部(2学科)であった。

### ④ 国際化の推進

#### i. 語学教育の強化

学士課程教育の国際化を実質的に展開することを目的として、語学力向上のためのプログラムを検討し、段階的に整備を進めた。

その一環として、言語教育センターの施設・設備及びメディア教材等の利用促進を図った。各年次で設定した TOEIC(公開又は IP)テストの目標スコア到達を目指し、全学生に年間最低1回の受験を奨励したが、全員の受験は実現しなかった。受験者には、受験料の全額又は半額程度の補助に加えて語学検定対策講座の受講料補助も行い、英語学習を側面から強力に支援した。なお、受験料補助については、英語では TOEIC、TOEFL、IELTS を対象とし、英語以外の語学検定試験に対しても適用して学生の費用負担を大幅に軽減した。

また、新たに商学部が加わり、全学部の新生を対象に英語のプレースメントテストを実施し、クラス分けや学習指導に活用した。この他にも、語学実習、English Cafe や Language League といった授業以外の自由参加のイベントにより、学生の語学力向上を図った。

#### ii. 国際交流

##### a. 協定校

2015年度は、アメリカのカーソン・ニューマン大学、カナダのプリンス・エドワード・アイランド大学、フランスのボルドー・モンテーニュ大学、ポーランドのワルシャワ経済大学、マレーシアのマラヤ大学、フィリピンのアテネオ・デ・マニラ大学、台湾の東海大学の7つの協定校を追加し、20か国56大学となった。ポーランドの協定校は、本学初であった。

##### b. 海外派遣留学生

1学期または1学年間、協定校に留学した海外派遣留学生は78名となり、過去最高の派遣学生数となった。夏季・春季休暇中の短期語学研修は、8か国9校で実施し、219名が参加した。現在、短期語学研修で学ぶことができる言語は、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語、イタリア語の6言語である。

##### c. 受入れ留学生

留学生別科では、主に協定校からの交換留学生を受け入れ、日本語の他に、日本の文化、社会、経済等に関する26科目を英語により提供した。2015年度は、85名の留学生(私費外国人留学生を含む)を受け入れた。また、海外の大学生を対象とした1か月間の日本語集中講座である夏期日本語研修には、アメリ

カ、フランス、中国、台湾、韓国の5か国35名が参加した(募集定員は40名)。

d. 交換教授・研究員

2015年度は、アメリカ、イギリス、タイ、中国から交換教授及び客員研究員4名を受け入れた。

e. その他

受け入れ留学生と高校生がともに学び、将来世界で活躍するための様々な能力を育成するためのプログラム「Seinan English Camp for Global Leadership」を開催した。九州各県をはじめ中四国地方からも参加者があり、“語学の西南”を実体験できる機会となり、入試広報にも寄与することができた。

⑤ 入試制度の充実

入学者の質の向上と量の確保のために、受験生や社会のニーズに基づき検討を進めた結果、2016年度入試から、一般入試A日程の同一試験日内において、これまで認めていなかった法学部と他学部との併願及び法学部内の法律学科と国際関係法学科との併願制度を導入し、志願者の増加につなげることができた。また、公募制推薦入試や英語専攻A0選抜入試等の英語の出願資格について、TEAPやGTECのスコアを新たに追加することにより、受験生の出願機会を拡げることができた。さらに、西南学院高校及び西南女学院高校に対する2015年度の推薦入学試験においては、4名が入学し、硬式野球部、バスケットボール部、ラグビー部にてそれぞれ活躍している。

⑥ 学生サービスの充実

正課外教育の充実のために、西新キャンパスと田尻グリーンフィールド間のシャトル便として利用している保有バス(西南バス)を2015年度から1台を4台に増やし、運行を開始した。西南バスは、遠征や合宿等で遠隔地に行く場合も利用に供しており、学生の遠征費等に係る経費が大幅に削減されている。

⑦ 大学間連携の強化

本学大学院法学研究科とエクスマルセイユ大学法学研究科との間で、両大学の修士課程・博士課程の学生に日本法、ヨーロッパ法を修得するための教育コースを提供する連携事業を推進し、2015年1月上旬から9月末までの予定でフランスから交換学生1名を受け入れた。

⑧ 新分野の教育・研究組織の在り方の検討

学長の諮問機関である「新分野の教育・研究組織を考える検討委員会」において、文系、理系の枠組みに捉われない新たな教育・研究組織の在り方について検討を行った。2015年7月には、その下部組織として「新分野の教育・研究組織を考えるワーキングチーム」を設置し、これまでの情報処理教育の実績に着目しつつ、より専門的立場から新たな学部・学科の教育目標等について具体的な検討を行った。今後は、2016年7月に「新分野の教育・研究組織を考える検討委員会」から学長に提出される予定の答申書を踏まえて、検討を深化させる。

⑨ 大学院の強化(人間科学研究科臨床心理学専攻修士課程の設置)

人間科学部心理学科の卒業生を大学院に受け入れるため、人間科学研究科に臨床心理学専攻修士課程を2016年4月に設置する届出申請を行い、2015年9月に文部科学省に受理された。また、臨床心理士の資格を取得するために必要な臨床心理センターを2015年7月に開設し、学外に向けた相談業務を開始した。

## ⑩ 教育・研究支援

### i. 内部質保証システムの構築

全学及び各学部・学科・専攻、研究科、各部局、センター等の課題を抽出して作成した「目標設定シート」に基づき、2014年度の自己点検・評価を実施し、結果を学外に公開した。また、2014年度に運用を開始した「自己点検・評価システム」について、大学の改革・改善につながる自己点検・評価活動を進めるために、大幅な改修の検討を行った。今後は、2017年度に予定している認証評価申請に向けて、体制等の検討を行うとともに、大学基準協会が提唱する「内部質保証システム」の考え方にに基づき、より実質を伴った自己点検・評価活動を推進していく。

### ii. 教育・研究推進機構の活動

- a. 教育インキュベートプログラムでは、前期の申請5件、採択5件、後期の申請10件、採択5件という実績であった。2015年度は、現行プログラムの検証と問題点の抽出及びその改正案の作成を行い、原案を整備した。
- b. 研究インキュベートプログラムでは、2016年度以降の公募研究助成制度への応募を条件とする研究インキュベート制度への申請3件、採択3件であった。また、科学研究費補助金への同時申請を条件とする研究助成制度への申請は5件であり、現在選考中である。
- c. 大学改革フォーラムを以下の通り開催した。  
第20回 自己・点検評価を通じた教育・研究の質向上について(2015年7月8日)  
講師：工藤 潤氏(大学基準協会事務局長)

### iii. 教育と学修支援の充実

「特色ある学部教育実施経費」により、学部・学科・専攻において、独自研修、自己学習システムの充実、学部TAの活用、ICT教育機器の充実等に取り組んだ。また、従来から実施している講演会補助、研修参加補助、各種検定補助、ゼミ論集製本、ゲストスピーカー招聘、交流会補助等についても、学部・学科・専攻の独自性を活かして活発に行った。さらに、第12次財政計画にて計上された予算により、入学前教育の一層の充実が図られ、学科独自の入学前オリエンテーション等の新たな取り組みも行った。

### iv. 大学奨学基金の充実

大学第12次財政計画に基づき、大学奨学基金及び教育研究振興基金として、それぞれ5,000万円を積み立てた。これまでの累計額は大学奨学基金12億3,000万円、教育研究振興基金7億2,000万円である。2011年度から成績優秀者奨学金制度を導入し、2015年度は1,360万円を支給するとともに、緊急支援のための奨学金についても787万円を支給した。

## B. 社会貢献の充実と強化のために

### ① 生涯教育の充実

2014年度の16講座(前期6講座、後期10講座)に対し、2015年度は31講座(前期15講座、後期16講座)を開講した。

#### i. 公開講座の開講

- ・「アイルランドへの招待」(2015年5月12日～6月30日、全8回、約100名参

加)

- ・「経済学で考える」(2015年5月28日～6月25日、全5回、約60名参加)
- ・「新しい国際秩序中で日本が果たすべき役割」(2015年10月1日～10月29日、全5回、約40名参加)
- ・「戦争を記憶する」(2015年10月13日～12月1日、全7回、約80名参加)
- ii. リカレント講座の開講
  - ・「発達障害に対する治療と援助を考える」(2015年6月27日、全5回、約50名参加)
  - ・「英語指導力開発ワークショップ2015」(2015年4月25日～5月30日、全19回、約20名参加)
  - ・「あまのじゃくと精神(心理)療法」(2015年12月5日、全4回、約30名参加)
- iii. 西南コミュニティーセンター主催講座の開講
  - ・「思い立ったらいつでも英会話」(2015年5月13日～6月10日、全5回、約30名参加)他、19講座

## ② 博物館の充実

### i. 春季及び秋季特別展

春季：大学博物館共同企画V「Nexus」

「キリスト教の源流と東方伝播－受容と禁教、そして解禁－」

2015年6月12日～8月6日(東北学院大学博物館)

「東日本大震災と文化遺産－被災と復旧、そして文化創造へ－」

2015年6月12日～8月4日(本学博物館)

秋季：「南蛮—NAMBAN—昇華した芸術」2015年11月7日～12月12日

### ii. 企画展

- ・古写真でみる西南学院IV(2015年1月24日～5月29日)
- ・江戸・明治時代の異国人イメージ(2015年8月5日～10月30日)
- ・西南から見た西新の記憶(2015年12月15日～2016年6月9日)

### iii. 特別展関連公開講演会(2015年7月、12月)

### iv. 第2回ミュージアムセッション

「実学教育の拠点－大学博物館の役割と活動報告」

### v. ワークショップ(小学生対象)

- ・せいなんこどもワークショップ
- ・おでかけワークショップ

### vi. 研究協定連携事業(國學院大學博物館、南島原市 相互貸借特集展示)

### vii. その他

- ・特別展図録、博物館ニュース、年報、研究紀要、資料集、事業報告書等を発行

## C. 教育と研究の環境整備のために

### ① 大学キャンパスグランドデザインの推進

2012年3月に策定した大学キャンパスグランドデザインは、大学キャンパス整備の基本方針に関して、キャンパスの景観、学生・教職員の動線、省エネや防災対策、地域貢献等の多方面から検討し、施設の建替えや配置、外構等を総合的に計画した

マスタープランである。なお、2015年度は、キャンパスグランドデザインの終了年度を2023年度から2037年度へ変更した。

i. 新図書館の建設

2016年8月の竣工を目標とし、新図書館の建設工事を実施している。竣工後は、自動書庫等の設置工事を行い、2017年4月に開館する予定である。

ii. エコキャンパスの推進

大学環境マネジメント委員会を中心に、学内の省資源、省エネルギー、環境物品等調達の推進及び廃棄物の減量と適正管理、環境負荷の低減に努めた。特に省エネルギーの観点から、大学の中央・西キャンパスの契約電力を過去1年間の電力デマンド実績に基づき、1,550kwから1,450kwに引き下げ、かつ経費の削減を図った。

また、国と電力会社から示された使用電力削減要請を受け、2015年度においても、2014年度に引続き、夏季休暇期間中の勤務時間変更や節電のための巡回等の省エネ対策強化に努めた。なお、2016年1月に経済産業省の委託団体である省エネルギーセンターによる「特定事業者等の現地調査」が実施された。現地調査結果としては特に問題ないとのことであった。また、受動喫煙防止対策に関する委員会においては、キャンパス内完全分煙化という基本方針のもと、防煙対策、分煙対策及び禁煙サポート・節煙対策に取り組んだ。厚生労働省所管の受動喫煙防止対策に係る専門家に学内の受動喫煙場所の視察を依頼し、実地指導を受けた。

iii. 将来の施設建設資金の確保

大学第12次財政計画に基づき、大学体育館2億円、大学西南会館5,000万円、大学新図書館5億円、大学新講義棟2億5,000万円、大学新学術研究所1億5,000万円を積み立てた。

② 情報処理環境の整備

西南学院大学総合情報ネットワークシステム(SAINS)を更新し、利用者の利便性や要望、教育支援の有効性を踏まえ、新たに下記の機能等を取り入れた。

i. eduroam JP(キャンパス無線LAN相互利用サービス)への参加

ii. 無線LANの増強

iii. 2016年度入学生以降を対象にしたクラウド(Gmailメール)を使った生涯メールアドレスの導入

iv. 多言語対応を強化したWebメールシステム(Roundcube)の導入

また、マルチメディア教室の教育機器の新デバイス対応について検討し、32室の機器更新を実施した。

### (3) 中学校・高等学校

#### A. 中学校・高等学校の動きについて

経済指標に好転傾向が見られるという調査結果があるものの、少子化と個人所得の伸び悩みなどを背景として、公立志向が一層強まる中、私立学校を取り巻く環境は依然として厳しいままである。加えて、周辺私学では、校舎の改装や男女共学化、大学との系列化などが進められており、これら改革の先発校であった本校の優位性をどう保ち、「教育の西南」をアピールしていくかが課題となっている。幸いにも本校は志願者に恵まれ、2015年度も必要な生徒数を確保することができた。

しかし、2016年度大学入学試験の結果については、九州大学への合格者数は増加し40名となったものの、国公立大学の合格者数は132名と2015年度の157名と比べ減少した。また、早慶をはじめとする難関私立大学においても、2015年度を下回る合格実績となった。主な大学への合格実績は以下の通りである。

#### 主な大学合格実績（2016年4月20日現在）

東京大学	2名	京都大学	0名	大阪大学	2名	一橋大学	0名
北海道大学	1名	東北大学	0名	横浜国立大学	4名	神戸大学	4名
広島大学	4名	九州大学	40名	九州工業大学	9名	熊本大学	7名
西南学院大学	168名	早稲田大学	13名	慶應義塾大学	18名	上智大学	12名
国際基督教大学	4名	青山学院大学	23名	同志社大学	38名	立命館大学	56名

#### B. 2015年度の主な事業

##### ① 学校評価の検討

自己評価・外部評価について、継続的に研究を行っている。なお、具体的な進展までは至っていない。

##### ② 教員研修制度の充実

一定条件を満たす教員を対象に、外部受講等の自己研修に要する経費の全額または一部を補てんするとともに、持ち時間数の軽減を図る措置を講じるなど、研鑽できる環境整備を検討している。また、研修補助のための予算を確保しており、応募ガイドラインを策定中である。

##### ③ キリスト教教育プログラムの推進・充実

本校の建学の精神の具現化、教育目標のキリスト教教育の側面からの取り組みとして、下記の主要行事をはじめとする各種教育プログラムを推進し、その充実に努めた。

1)チャペル 2)ミッションウィーク 3)ボランティア活動 4)平和教育、人権・「同和」教育

##### ④ 奨学事業の充実

奨学基金3億円の運用益を財源として2014年度から新入生奨学金の運用を開始したが、運用2年目となる2015年度においては前年度(32名)を上回る43名(中学8名、高校35名)に対して奨学金を給付した。また、今後の安定的な奨学事業財源の確保と有効活用を図っていくため、2014年度からの3年間で毎年度1億円を奨学基

金として積み立て総額6億円まで増額する計画を策定しており、2015年度においても1億円を基本金に組み入れた。

⑤ 建物、設備の修繕・改修計画の策定

経年劣化による不具合が頻発している校舎空調機器について、省エネ補助金活用を前提に体育館アリーナ1・2の天井照明機器を含めた具体的な機器更新計画を検討しており、2016年度予算において必要経費を計上した。

なお、校舎4階部室ビレッジ改修のための設計については、具体的な進展がみられなかった。

2015年度中の主な施設設備の改修・整備、機器設置・入れ替えは、以下のとおりである。

- 1) テニスコート人工芝補修、2) 中学予備教室理科実験機器設置、3) 高校予備教室電子黒板設置、4) アリーナ1大型スクリーン・プロジェクター設置(中学校・高等学校卒業生記念事業として)、5) グラウンド整備・防球ネット改修(中学校・高等学校100周年記念募金事業として)、6) B S アンテナ取付工事

⑥ 事務システムの構築

本部・大学との事務システムの平準化を図るため、2013年度から経理関係・庶務関係を中心とした事務システムの開発に着手し、当初の計画より1年遅れとなったが2015年度で開発作業が完了した。今後はシステムの運用状況を確認しながら、引き続き必要な改修作業を進める。

⑦ 中高一貫教育体制の再点検

1996年に中高一貫教育がスタートして21年目を迎えるにあたり、中高一貫教育の歩みを検証し、より強固な教育体制作りを目指して、2015年度においては「夏期教員研修会」と「教育懇談会」において本校の歩みや学業面からみた生徒の動向などについて教員全員で確認し、認識の共有を図り、さらに課題の洗い出しを行った。今後さらに、2015年度に新たに設置された中高中長期計画検討委員会などを中心に具体的な検討・分析を進めていく。

⑧ 西南学院小学校との連携について

2014年度に西南学院小学校からの第1回目の推薦入学生として受け入れた57名の生徒について、1年次の成績を中心に西南学院小学校と学業面および生活面での状況を確認する機会を設けた。今後も継続して連携をとりながら諸問題に取り組んでいく。なお、第3回目となる2016年度の西南学院小学校からの推薦入試では、51名の生徒が入学することとなった。

⑨ 広報活動の充実

2014年度から、委員会組織の改組を行い、新たに中学校と高等学校をまたがる「広報部」を設置し、広報主任と広報担当者を配置した。これにより、広報活動の充実と強化が図られ、本校の持つ特色を校外の方々に広く情報提供することを中心に据えて活動した。また、今後の広報活動の課題についても再確認し、引き続き本校らしく且つ時代に適合した効果的な広報のあり方を検討していくこととなった。さらに、学院の広報部との連携強化についても取り組む。

⑩ 進路指導の充実

2014年度から、従来まで中学校と高等学校それぞれに設置されていた進路指導部を統合し、中高一貫教育6年間における進路指導体制とした。2015年度より中高一

貫教育に移行後の検証として、一貫生の成績の推移をまとめ、課題の洗い出しを行った。また、進路説明会等において一本化された進路指導主任が担当することとなり、特に中学生とその保護者に対して高校の進学状況等を説明することにより勉学への意識を高めるよう働きかけた。

① 国際交流の充実

国際交流委員会では、学院の中長期ビジョンの一つである国際感覚を身につける機会として、高校生対象の「訪米研修旅行」や「訪豪研修旅行」といった研修プログラムにならい、中学生を対象に海外での語学研修を目的とする国際交流プログラムの新設について検討を進めてきた。2015年度においては、目的地をハワイとする実施計画案をもとに業者の選定と現地の事前調査を行い、「西南アロハツアー」として具体的な実施要項をまとめた。関係会議体での審議を経て、2016年度夏に実施することが決定した。

C. 東日本大震災被災地支援活動

① チャペル講話

東日本大震災を覚え、5月27日から29日にかけて行った高校前期ミッションウィークの講師として福島県にある郡山コスモス通り教会の金子千嘉世牧師を招いて、福島の現状に加えて震災後5年が経過した被災地と住民の状況についての講話が行われた。また、金子牧師の講話を受けて、多くの生徒から使われなくなったグローブなどの野球用具が提供され、金子牧師に贈呈した。

② クリスマス献金・「震災わすれない募金 2016」

被災地支援活動関連の送呈先は下記のとおり。

クリスマス献金：あしなが育英会、日本バプテスト連盟被災地支援募金、福島移住女性支援ネット(旧外国人被災者支援センター)(以上2012年度から継続)、サンタプロジェクト九州(2013年度から継続)

3月9日に生徒の参加を得て行った「震災わすれない募金 2016」では21万円を超える献金をお預かりし、上記4団体に送呈させていただいた。

D. 学友会活動の2015年度の主な実績

① 高等学校

「九州大会」

- ・女子ハンドボール部：6/20～21(大分県、第65回全九州高等学校競技大会)  
ベスト8
- ・ヨット部：6/11～6/14(佐賀県、第43回全九州高等学校ヨット競技大会)
  - 男子シーホッパー級 SR 1年下石熙 第1位
  - 女子FJ級 3年松尾・大村組 第5位
  - 女子420級 2年井上・塩井組 第4位
- ・陸上競技部：6/18～6/21(全国大会北九州地区予選)
  - 男子槍投げ 3年穴見一佐 54M67 第8位
- ・陸上競技部：10/9～10/11(第33回全九州高等学校新人陸上競技大会)
  - 女子400MH 2年木下真那 1分03秒96 第3位
- ・男子テニス部：6/20～6/22(第50回全九州高等学校テニス競技大会)

男子シングルス出場 3年黒田深樹

- ・女子テニス部：6/20～6/22(第50回全九州高等学校テニス競技大会)

女子シングルス出場 2年寺田悠花

「全国大会」

- ・女子ハンドボール部：8/1～8/7

(大阪府、全国高校総合体育大会(近畿インターハイ)出場 2回戦進出)

- ・女子ハンドボール部：9/26～10/6(和歌山県、和歌山国民体育大会)

福岡県代表 3年鈴木瑛美 ベスト8進出 第5位

- ・ヨット部：8/12～8/16(和歌山県、全国高校総合体育大会(近畿インターハイ))

女子FJ級 3年松尾・大村組

女子420級 2年井上・塩井組

- ・ヨット部：9/26～10/6(和歌山県、和歌山国民体育大会)

女子420級福岡県代表 3年松尾綾

- ・陸上競技部：10/16～10/18(愛知県、第9回日本ユース選手権大会)

女子400MH出場 2年木下真那

- ・放送部：12/17～12/18(第37回九州高校放送コンテスト長崎大会)

朗読部門 1年神田夏帆(第4位)、2年緒方ゆい(出場)

アナウンス部門 2年荻林歩未(出場)

- ・書道部：第44回サンデー毎日学生書道コンクール

サンデー毎日賞 2年古川真帆、2年中野響

## ② 中学校

「九州大会」

- ・硬式テニス部：8/4～6(鹿児島県、九州中学校体育大会 団体戦)

3/29～30(佐賀県、九州中学テニス新人大会 団体戦)

#### (4) 小学校

##### A. 小学校開校 6 年目の動き

2015 年 4 月 1 日現在、教職員 35 名(専任教員 16 名、常勤講師 4 名、非常勤講師 6 名、専任職員 1 名、嘱託職員 5 名、臨時職員 1 名、派遣職員 2 名)を配置し、開校 5 年目を迎えた。4 月 8 日に入学式を行い、1 年生 75 名が入学したことにより、1 年生から 6 年生までの児童総数は 424 名となった。

##### B. 教育プログラムの推進

今年度も本校独自の教育プログラムを積極的に展開した。前年度までの反省点を踏まえながら各行事の改善に取り組み、ネイバーキャンプ、ネイチャーキャンプ、スポーツフェスティバルやアSEMBリーなどの縦割教育、春・秋に実施するアートウィークなどの芸術鑑賞、ミッションウィークやクリスマス礼拝などのキリスト教に関する行事など、多様な年間プログラムを実施した。また、西南学院大学の留学生と年次ごとに交流会を行うなど、ウイングタイムを利用した特別授業も実施した。

##### C. 転入学試験の実施

入学定員を満たしていない新 2、3 年生について、転入学試験を実施して児童の充足を行った。2 年生 1 名、3 年生 1 名の児童が転入学したことで、財政面の改善が図られた。

##### D. 後援会組織の活動

後援会発足 6 年目を迎え、会員数も増加したことから、後援会からの支援体制がさらに充実したものになった。昨年に引き続き図書購入費及び学校環境整備費をご支援いただき、図書館及び校内の環境整備を更に進めることができた。また、校外においても 100 周年記念募金事業での寄付金を活用し、グラウンドの改修工事及び西南の森の土壌改良工事を行い、より良い環境にすることができた。これら経済的な支援に加え、後援会有志のボランティアによる児童の登下校時の見守り活動も継続して実施され、物心両面におけるサポートを受けることで、児童が快適な学校生活を送ることができた。

##### E. クリスマス献金

児童・保護者から寄せられたクリスマス献金(232,783 円)を下記の団体に寄付した。

『ペシャワール会』 82,783 円

『ネパール地震被災者』 50,000 円 (日本国際飢餓対策機構を通じて)

『中東の難民の方々へ』 50,000 円 (日本赤十字社を通じて)

『東日本大震災被災の子どもたちへ』 50,000 円

(日本基督教団東日本大震災被災者支援募金「こひつじキャンプ」支援募金)

## (5) 舞鶴幼稚園

2015年度の主な事業は次のとおり。

### ① 保育カリキュラムの確認と検討

毎期ごとに各クラスで保育カリキュラムの反省と見直しを行った。

また、保育カリキュラム別冊資料作成のため、保育実践「集団づくり」「リズム運動」「絵本の読み聞かせ」についての研究会を月に一回のペースで進めてきた。「集団づくり」についての冊子は2016年度に発刊予定である。

### ② 施設点検、修繕など

2学期末と年度末の2回、教職員で分担し園内全箇所の点検を行い、不具合や破損等、修理の必要な箇所について確認し共通意識を持った。それに基づいて、修繕できるものについては年度内に修繕し、難しいものについては次年度以降業者に修繕を依頼するなどの計画を立てた。

### ③ 防災計画の促進

年度初めに園内危険箇所について、教員間で確認し合った。

病院に受診の必要性がありそうな怪我が発生した折には、なぜ怪我をしたのかの原因の分析を行い、同じような状況が繰り返されないようそのつど教職員間で確認し保育に臨むようにしてきた。

今年度より保護者への緊急の連絡を一斉メール配信で行うことにし、より迅速な連絡を行えるようになった。

### ④ 宗教活動、行事について

各クラスで毎日礼拝を守ることで、神様やイエス様を身近に感じられるような保育であるよう心掛けていった。

6月の花の日礼拝と11月の感謝祭礼拝は早緑子供の園と合同礼拝を行い、喜びを共にしながら神様への感謝を深めていった。

クリスマス会を各クラスで計画を立てて行い、クリスマスの本当の意味を知ること、クリスマスをみんなで楽しくお祝いすることができた。特に年長クラスでは、全員で降誕劇に取り組むことで、よりクリスマスへの理解を深めることができた。

保護者を対象とした父母礼拝を、園長主導のもとハンキンス宗教主事や鳥飼バプテスト教会の三田牧師の協力を得て行い、特にお母さん方にとって安心してゆっくり子育てや人生を振り返る礼拝を守る時間を提供してきた。

## (6) 早緑子供の園

園児に対し、キリスト教を土台とした人間教育の基礎を培うことを念頭に置き、日々の保育を積み重ねていった。その中で、戦後 70 年を迎え、さらに西南学院創立 100 周年を控え、乳幼児に対する平和教育を意識し、日常の保育の中でどのように捉えていくか、さらに具体的な取り組みの計画と実践を行った。

また、保育実践研究体系構築の一環として、子どもの人間関係の育ちに関する新たな研究テーマに取り組んだ。保育現場を理論的に解釈し説明をすることにより、自己研鑽を積む機会とするとともに、社会における保育所への理解を高めることの一助としたい。

また、2015 年度より施行された新しい保育制度「子ども・子育て新制度」については、その概要を把握しながら諸手続きなどを進めた。今後、国や社会の動向を見ながら、西南学院の保育所としてのあり方を中長期的な将来を見据えて考えていきたい。

### A. 2015 年度の主な事業

#### ① 保育に関して

園内研究会や保育内容検討会を充実させ、構成員の状況やクラスの課題に応じた学びが深められるように、内容や方法を検討して行った。単年度と中期的な目標を立てた上で計画・実践していくことの必要性和有効性が確認できた。

#### ② 保育実践研究

園全体で取り組んでいる「保育所 1・2 歳児クラスの食事場面における人間関係の育ち—保育者の援助を手がかりに」というテーマの実践研究が、全国社会福祉協議会による「植山つる児童福祉研究費奨励基金(研究 B・共同研究)」の公募に応募したところ、採択された。これは、早緑で採用している保育形態のひとつである育児担当制に注目し、保育者による日々の細やかな援助のひとつひとつが、子どもの育ちにいかに関わるかについて検証するものである。2016 年に学会発表を行うとともに、研究成果を論文にまとめる予定である。また、いただいた研究費で、必要な機材などを購入することができ、日常の保育にも有効に使用したい。

#### ③ 保育制度の変革

保育協会などが開催する研修会などに積極的に参加し、認定子ども園への移行に関する事項も含めて新しい情報を得るように心がけた。また、新制度施行に伴う諸手続きの変更や行政への書類の提出など、事務手続きも進めた。

#### ④ 西南学院大学・西南学院小学校・西南子どもプラザとの連携

大学生が講義、卒論研究、行事の手伝いなどで園を訪れる機会が多かった。保育実習の受け入れも含め学びの場を提供すると共に、園としてもよい刺激や支援を受け、充実した連携が図られた。今年度開設された大学附属の臨床心理センターについて、園児や地域の保護者に機会ごとに紹介し、継続利用を含む数件の利用・今後利用予定の報告があった。園と大学が連携し、学院ならではの専門性が活かされる子育て支援となっている。

小学校とは、これから保育所として責務を負う小学校との連携充実も見据えながら、継続的な交流を目指し、園児が小学校訪問を行った。また、小学校体育館で行う運動会も 5 年目を迎え、定着してきた。

西南子どもプラザとは、地域の親子に子育て支援の一環として、機会あるごとに

施設の紹介を行ったが、利用の報告が多く聞かれる。

⑤ 舞鶴幼稚園との連携

舞鶴・早緑将来計画委員会における協議事項を踏まえながら、西南学院の乳幼児保育・教育施設として両園が同じ敷地にあることの意味を確認しながら、連携を進めた。具体的には、行事や日常の保育の中での子ども同士の関わりを中心に新たな試みを行った。今後、さらに実践を重ねながら、内容や方法を検討していきたい。

⑥ 施設・設備

幼児園庭すべり台・乳児園庭と幼児園庭の砂場庇・乳児園庭の立位砂場の老朽化に伴い、園庭全体の改造計画に着手した。今後、財源確保の面などが継続課題である。また、厨房の空調設備工事が完了し、夏場の衛生管理や職員の労働環境の面で改善された。

⑦ 地域への貢献

地域の親子を対象としての「保育園で遊ぶ会」を、土曜日・平日に計画し、同時に育児相談の場も設けるなど地域の子育てを支援する事業に取り組んだ。毎回、手作り遊具の製作やわらべうた遊びを行うなどし、継続的な利用者も多かった。また、保育士が地域の公民館で開かれる子育てサークルに出向いて行う地域の親子との交流については定例化しており、継続しての依頼を受けている。

⑧ さみどりのうたの製作

学院創立100周年を記念に、年長児の言葉や思いを綴り「みんなかみさまがつくってくれた」というタイトルのうたを作った。このうたは、卒園式で披露するとともに、録音してCD製作も行った。今後、早緑のうたとして、歌い継いでいく予定である。

B. 宗教活動・行事

① イースター礼拝：4月13日

保育室に水彩絵の具で製作したイースターエッグを飾り、幼児クラスで礼拝を守った後、卵のお菓子探しをして祝った。

② 舞鶴幼稚園との合同礼拝 花の日：6月1日・感謝祭：11月9日

幼児クラスの子どもたちが、舞鶴幼稚園園児と共に礼拝を守り、子どもたちといっしょに、日ごろお世話になっている方々に、お花や果物を届けた。

③ クリスマス行事

i. アドベント礼拝・ツリー点灯式：11月30日

各クラスでのアドベント礼拝、全体でのツリー点灯式を行った。この日から毎日アドベントカレンダーの窓を開け、クランツに火を灯しながらクリスマスを迎える準備を進めた。ツリーは、お迎え時に親子で飾りつけをしてもらった。

ii. こひつじクリスマス(乳児クラス)：12月5日

クラスごとに保護者も一緒に礼拝を守り、降誕のお話を人形や大型絵本などで観て、その後会食をしてクリスマスを祝った。

iii. クリスマスメッセージ・さみどりクリスマス：12月21日

園長による保護者対象のメッセージ「飼い葉おけの乳飲み子」の後、子どもたちがキャンドルサービスや降誕劇を行い、クリスマスの喜びを伝えた。

④ 鳥飼バプテスト教会礼拝

幼児クラスの子どもたちが毎月鳥飼教会に出かけて、礼拝堂で牧師先生から神様の話をしていただいた。3月には年長児が卒園礼拝を守った。

⑤ 聖書を学ぶ会

i. 職員対象

年に3回、リディア・ハンキンス宗教主事を招き、月の聖句の背景や意味、子どもたちへの伝え方について学んだ。特に2015年度は、新任保育士や非常勤保育士を対象として、キリスト教保育と日々の保育のつながりを確認した。

ii. 実習生対象

西南学院大学の学生が主の実習期間(年2回)に、リディア・ハンキンス宗教主事にキリスト教保育についての話をしていただき、共に学びの時を持った。

⑥ 平和教育

年長児の子どもたちを対象とし、70年前の戦争や早緑が創設された経緯、また、現在世界各地で起きている戦争やさまざまな紛争の話をした。そして、その模様や子どもたちの反応についても保護者に伝えた。

⑦ 保護者対象

毎年度末に発行する文集「さみどり」を学院創立100周年記念号と位置づけ、特集テーマを「平和を感じ、守り、創りだす」とした。院長・園長の巻頭文に続き、保護者にも平和についての思いを綴ってもらい、園からは保育の中で感じる「平和」について、あるいは年長児と行った平和への取り組みの報告記事も掲載した。

## 2. トピックス

### (1) 各学校・園行事〔2015(平成27)年4月1日～2016(平成28)年3月31日〕

	(1) 学院本部・事務局	(2) 大学
4月	・新任教職員オリエンテーション(2日) ・キ学教同盟西南地区協議会総会(24日)	・入学式(1日) ・オリエンテーション(2～6日) ・前期授業開始 (法科大学院：2日、学部・大学院：7日)
5月	・学院創立記念式典(15日)	・学院創立記念式典(15日) ・留学生別科終了式(21日) ・九州六大学野球春季応援合戦(24日)
6月	・キ学教同盟総会(12～13日)	・春季キリスト教フォーカス・ウィーク(2～4日)
7月	・キ学教同盟事務職員夏期学校(25～27日) ・日本バプテスト連盟事業体懇談会(31日)	・入試説明会(1～3日、6日) ・前期試験 (法科大学院：24日～8月6日、学部：29日～8月6日)
8月	・キ学教同盟西南地区夏期学校(3～4日) ・キ学教同盟西南地区新任教師オリエンテーション(3～4日) ・キ学教同盟西南地区校長会(4日) ・キ学教同盟西南地区事務職員研修会(19～21日) ・職員夏期修養会(25～26日)	・オープンキャンパス(1～2日) ・夏季休暇(7日～9月11日) ・留学生別科入学式(20日) ・法科大学院入試(29～30日)
9月		・大学院秋期入試(5日) ・教職員懇談協議会(11日) ・後期授業開始(14日) ・ホームカミングデー(26日) ・修学懇談会(26～27日) ・前期卒業証書・学位記授与式(30日)
10月	・伝道者養成に関する協議会(7日)	・修学懇談会(3～4日、10～11日) ・2年次転・編入、3年次転・編入等、帰国生入試(24日)
11月	・日本バプテスト連盟定期総会(11～13日) ・キ学教同盟学校代表者協議会(13～14日) ・キ学教同盟西南地区事務長会(17～18日)	・各種推薦等、外国人入試(7日) ・大学祭(12～15日) ・秋季キリスト教フォーカス・ウィーク(24～26日)
12月	・西南学院教職員クリスマス(9日) ・西南学院コミュニティークリスマス(18日)	・キャンドルサービス(24日) ・冬季休暇(26日～1月5日)
1月	・キ学教同盟西南地区校長会(22日)	・大学入試センター試験(16～17日) ・後期試験 (学部：22日～2月1日、法科大学院：23日～2月4日)
2月		・一般入試(4～6日、8～9日) ・法科大学院入試(13～14日) ・一般入試、大学センター試験利用入試(前期)、 一般入試及びセンター試験併用型入試合格発表(20日) ・ファカルティ・リトリート(24日) ・大学院春期入試(26～27日)
3月		・センター試験利用入試(後期)合格発表(11日) ・卒業礼拝、卒業証書・学位記授与式(18日)

※キ学教：キリスト教学校教育同盟

	(3) 高等学校	(4) 中学校
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式(7日)</li> <li>・始業式(8日)</li> <li>・新入生オリエンテーション(9～10日)</li> <li>・保護者学校説明会(11日)</li> <li>・保護者進路説明会(18日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式(7日)</li> <li>・始業式(8日)</li> <li>・1年学院紹介オリエンテーション(9日)</li> <li>・学年・学級保護者会(2年：11日、1,3年：18日)</li> <li>・2年集団生活(22～24日)</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後援会総会(9日)</li> <li>・教育実習(11～29日)</li> <li>・学院創立記念式典(15日)</li> <li>・人権同和教育研修会(19日)</li> <li>・中間考査(20～22日)</li> <li>・前期ミッションウィーク(27～29日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期ミッションウィーク(11～12日)</li> <li>・早朝読書週間(11～17日)</li> <li>・教育実習(11～29日)</li> <li>・学院創立記念式典(15日)</li> <li>・人権同和教育研修会(19日)</li> <li>・中間考査(20～21日)</li> <li>・後援会総会(23日)</li> <li>・クラスマッチ(29日)</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期保護者懇談会(10～16日)</li> <li>・教育研究会(24日)</li> <li>・期末考査(25～30日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・同和授業(2日)</li> <li>・保護者面談(3～9日)</li> <li>・教育研究会(24日)</li> <li>・期末考査(24～26日)</li> <li>・私立中入試説明会(28日)</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権同和教育特設授業(1～3日)</li> <li>・教員聖書研究会(9日)</li> <li>・文化祭(17～18日)</li> <li>・終業式(21日)</li> <li>・夏季前期補習(22～30日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・同和授業(3日)</li> <li>・中体連開会式(4日)</li> <li>・教員聖書研究会(9日)</li> <li>・終業式(17日)</li> <li>・指定者補習(28日～8月5日)</li> <li>・韓国からの旅(31日～8月3日)</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪豪研修旅行(1～13日)</li> <li>・夏季後期補習(18～25日)</li> <li>・私学展(22～23日)</li> <li>・夏季教員修養会(27～28日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季補習(18～25日)</li> <li>・私学展(22～23日)</li> <li>・夏季教員修養会(27～28日)</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業式(1日)</li> <li>・スポーツフェスティバル(9～11日)</li> <li>・オープンキャンパス(23日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業式(1日)</li> <li>・体育大会(19日)</li> <li>・教員聖書研究会(25日)</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間考査(2～6日)</li> <li>・2年林間学校(19～23日)</li> <li>・1年・3年遠足(23日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間考査(1～2日)</li> <li>・同和特設ビデオ授業(6～7日)</li> <li>・学年別遠足(9日)</li> <li>・オープンキャンパス(17日)</li> <li>・後期ミッションウィーク(19～21日)</li> <li>・合唱発表会(30日)</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書週間(2～13日)</li> <li>・人権同和教育特設LHR(2日)</li> <li>・後期保護者懇談会(4～10日)</li> <li>・後期ミッションウィーク(4～6日)</li> <li>・教育懇談会(26日)</li> <li>・期末考査(26日～12月1日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書週間(2～13日)</li> <li>・教育懇談会(26日)</li> <li>・期末考査(26～30日)</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェアウェルパーティ(16日)</li> <li>・クリスマス礼拝(2,3年：17日、1年：18日)</li> <li>・キリスト教学校教育フェア(19日)</li> <li>・終業式(21日)</li> <li>・冬季補習(22～27日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマス礼拝(15日)</li> <li>・キリスト教学校教育フェア(19日)</li> <li>・終業式(21日)</li> <li>・指定者補習(22日～1月7日)</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業式(8日)</li> <li>・専願入試(26日)</li> <li>・専願入試合格発表(28日)</li> <li>・教員聖書研究会(28日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業式(8日)</li> <li>・中学校入試(14日)</li> <li>・中学校入試合格発表(16日)</li> <li>・教員聖書研究会(28日)</li> <li>・進路交流会(30日)</li> <li>・入学説明会(30日)</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期入試(5日)</li> <li>・前期入試合格発表(9日)</li> <li>・後期入試(13日)</li> <li>・後期入試合格発表(16日)</li> <li>・期末考査(23～29日)</li> <li>・卒業礼拝(29日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年修学旅行(9～12日)</li> <li>・期末考査(23～25日)</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式(1日)</li> <li>・入学説明会(3,16日)</li> <li>・終業式(22日)</li> <li>・訪米研修旅行(21日～4月1日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業礼拝(8日)</li> <li>・修了式(14日)</li> <li>・終業式(22日)</li> <li>・指定者補習(24～30日)</li> </ul>

	(5) 小 学 校	(6) 舞 鶴 幼 稚 園
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業式(6日)</li> <li>・入学式(8日)</li> <li>・アチーブメントテスト(15～17日)</li> <li>・イースターチャペル(17日)</li> <li>・懇談会(17日)</li> <li>・防犯教室(21日)</li> <li>・1・2年合同下校(22日)</li> <li>・ウェルカムアセンブリ(24日)</li> <li>・ウェルカムピクニック(24日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始園式(8日)</li> <li>・入園式(10日)</li> <li>・教会学校開始(13日)</li> <li>・イースター礼拝(13日)</li> <li>・預かり保育開始(13日)</li> <li>・家庭訪問(14日～)</li> <li>・未就園児保育(23日)</li> <li>・母の会総会(24日)</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2・6年学習参観(14日)</li> <li>・創立記念式典(15日)</li> <li>・ミッションウィーク(19～20日)</li> <li>・芸術鑑賞会(音楽)(22日)</li> <li>・3・4・5年学習参観(22日)</li> <li>・ネイバーキャンプ(1・2年)(28～29日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期父母礼拝開始(全9回)(8日)</li> <li>・父親参加の日(10日)</li> <li>・親子遠足(14日)</li> <li>・学院創立記念式典(15日)</li> <li>・親子であそぼう会(全6回)(20日)</li> <li>・ミニ講演会、育児相談(21日)</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の日チャペル(施設訪問)(2日)</li> <li>・後援会総会(2日)</li> <li>・ネーチャーキャンプ(3・4年)(5～6日)</li> <li>・個人懇談(10～17日)</li> <li>・避難訓練(火災)(12日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の日礼拝(1日)</li> <li>・光組社会見学(10、17日)</li> <li>・ミニ講演会、育児相談(16日)</li> <li>・避難訓練(地震)(25日)</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アートウィーク(1～7日)</li> <li>・学校公開・説明会(西南学院フェア)(4日)</li> <li>・平和学習(23日)</li> <li>・終業式(24日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期終業(16日)</li> <li>・光組合宿保育(17～19日)</li> <li>・夏季休暇(21日～)</li> <li>・未就園児対象水あそび(西南学院フェア)(22日)</li> <li>・小1親子同窓会(23日)</li> </ul>
8月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏期保育(27～29日)</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業式(1日)</li> <li>・夏休み作品展(3～10日)</li> <li>・入試説明会(5日)</li> <li>・ヒストリーツアー(5年)(17～18日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期始業(1日)</li> <li>・まいづるまつり(6日)</li> <li>・未就園児対象どろんこあそび(9日)</li> <li>・ミニ講演会、育児相談(10日)</li> <li>・教会学校、2学期父母礼拝開始(全8回)(11日)</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツフェスティバル(10日)</li> <li>・避難訓練(地震)(15日)</li> <li>・ミッションウィーク(21～22日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月組お泊り保育(1～2日)</li> <li>・新年度入園募集説明会(17日)</li> <li>・運動会(24日)</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サンクスギビングチャペル(5日)</li> <li>・入学試験(13～14日)</li> <li>・合格発表(18日)</li> <li>・芸術鑑賞会(舞台)(26日)</li> <li>・クリスマスツリー点灯式(24日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入園児願書受付(1日)</li> <li>・新入園児面接(2日)</li> <li>・光組社会見学(4日)</li> <li>・みかん狩り遠足(5、6日)</li> <li>・感謝祭礼拝(9日)</li> <li>・未就園児クラス募集説明会(18日)</li> <li>・親子観劇会(20日)</li> <li>・クリスマス礼拝(27日)</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アートウィーク(1～7日)</li> <li>・学習参観・懇談会(5日)</li> <li>・クリスマスチャペル(22日)</li> <li>・終業式(22日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマス祝会(10、12日)</li> <li>・もちつき大会(15日)</li> <li>・2学期終了(18日)</li> <li>・冬期休暇(21日～)</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業式(8日)</li> <li>・ブレインオリンピック(21～22日)</li> <li>・新1年生入学説明会(23日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期始業(8日)</li> <li>・教会学校開始(12日)</li> <li>・避難訓練(火災)(18日)</li> <li>・3学期父母礼拝開始(全5回)(22日)</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アートウィーク(8～12日)</li> <li>・学習発表会(2～5年)(10日)</li> <li>・後援会主催講演会(16日)</li> <li>・ウィングツアー(6年)(20～25日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春をよぶ会(9、17、18日)</li> <li>・光組社会見学(16日)</li> <li>・母の会総会(26日)</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習参観・懇談会(3～4日)</li> <li>・フェアウェルアセンブリ(8日)</li> <li>・卒業礼拝(15日)</li> <li>・卒業証書授与式(16日)</li> <li>・修了式(25日)</li> <li>・入学手続日(29日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業礼拝(6日)</li> <li>・卒業式(16日)</li> <li>・終業式(18日)</li> <li>・子ども同窓会(19日)</li> <li>・新入園児健康診断(24日)</li> <li>・カリキュラム研究会(24日)</li> </ul>

(7) 早緑子供の園	
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園式(1日)</li> <li>・イースター礼拝(13日)</li> <li>・年長児社会見学1(24日)</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春季総合健診(12日)</li> <li>・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(12日)</li> <li>・西南学院創立99周年記念式典(15日)</li> <li>・保育園で遊ぶ会1(16日)</li> <li>・保護者会総会(23日)</li> <li>・親子遠足(23日)</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の日礼拝(1日)</li> <li>・年長児社会見学2(5日)</li> <li>・幼児クラス保育体験会(13日)</li> <li>・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(16日)</li> <li>・歯科検診(22日)</li> <li>・田植え体験会(24日)</li> <li>・乳児クラス保育参観開始(25日)</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園で遊ぶ会2(4日)</li> <li>・さみどりこどもまつり(11日)</li> <li>・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(14日)</li> <li>・プール開き(21日)</li> <li>・小中学生の集い開始(22日)</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お泊り保育説明会(28日)</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お泊り保育(11～12日)</li> <li>・保育園で遊ぶ会3(17日)</li> <li>・おじいさんおばあさんと遊ぶ会(25日)</li> <li>・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(29日)</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長児社会見学2(2日)</li> <li>・育児講座1(3日)</li> <li>・運動会(17日)</li> <li>・新年度入所申し込み書配布、受付開始(19日)</li> <li>・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(20日)</li> <li>・秋季総合健診(20日)</li> <li>・幼児クラス遠足(30日)</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稲刈り体験会(4日)</li> <li>・入園説明会(7日)</li> <li>・感謝祭礼拝(9日)</li> <li>・年長児西南学院小学校訪問(10日)</li> <li>・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(17日)</li> <li>・保育園で遊ぶ会4(19日)</li> <li>・アドベント礼拝・ツリー一点灯式(30日)</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児クラスクリスマスクッキー作り(4日)</li> <li>・こひつじクリスマス(5日)</li> <li>・クリスマスメッセージ(19日)</li> <li>・さみどりクリスマス(19日)</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(19日)</li> <li>・幼児クラス保護者懇談会(22日)</li> <li>・育児講座2(23日)</li> <li>・小学生同窓会(23日)</li> <li>・新年度入所児発表、面接(29日～)</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園で遊ぶ会5(2日)</li> <li>・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(9日)</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒園礼拝(8日)</li> <li>・保護者会クリーンアップ大作戦(12日)</li> <li>・お別れ会(15日)</li> <li>・お別れ遠足(16日)</li> <li>・保護者懇談会(18日)</li> <li>・第64回卒園式(26日)</li> </ul>

## (2) 認可・認定・届出

- ・ 西南学院大学大学院人間科学研究科臨床心理学専攻設置届出  
名 称 : 西南学院大学大学院人間科学研究科臨床心理学専攻  
課 程 名 : 修士課程  
届 出 年 月 日 : 2015(平成27)年7月29日  
入 学 定 員 : 8名  
収 容 定 員 : 16名  
修 業 年 限 : 2年  
開 設 時 期 : 2016(平成28)年4月1日

## (3) 名誉顧問・名誉教授・名誉博士

2016(平成28)年3月31日現在

## 名誉顧問

氏名	授与年月	氏名	授与年月
伊藤隆夫	2003. 3	寺園喜基	2013. 3
L. K. シーフト	2004. 4	吉田茂生	2015. 3

## 名誉教授

氏名	授与年月	氏名	授与年月
杉原実	1993. 4	古川暢朗	2005. 4
唐木田芳文	1994. 4	堺太郎	2005. 4
堤克彦	1994. 10	片岡章	2006. 4
大内和臣	1995. 4	小森俊介	2007. 4
尾崎恵子	1996. 4	古川卓萬	2007. 4
岡本幸雄	1996. 4	斉藤末弘	2007. 4
後藤泰二	1996. 4	村上隆太	2008. 4
関谷定夫	1996. 4	戸星善宏	2008. 4
泉マズ子	1997. 4	吾郷健二	2010. 4
ヒュー H. ヤング	1997. 4	大濱順彦	2010. 4
中村清	1997. 4	井口正俊	2010. 4
安徳典光	1999. 4	堤啓次郎	2010. 4
平野正	1999. 4	森泰男	2011. 4
河野信子	1999. 4	小林洋一	2012. 4
屋宜和夫	1999. 4	安河内英光	2012. 4
古澤嘉生	2000. 4	前田芳人	2012. 4
田代義範	2000. 4	新谷正彦	2012. 4
上野武	2000. 4	河島幸夫	2012. 4
原田三喜雄	2001. 4	青野太潮	2013. 4
佐渡谷重信	2002. 4	古屋靖二	2013. 4
八木幹	2002. 4	土方久	2013. 4
中村栄子	2002. 4	王孝廉	2013. 4
八田正光	2002. 4	沢野直紀	2013. 4
山口稲生	2002. 4	江副憲昭	2014. 4
川島信義	2002. 4	藤田尚充	2014. 4
太田和男	2003. 4	森本利和	2014. 4
山崎勇視	2004. 4	高倉洋彰	2014. 4
西嶋幸右	2004. 4	福田靖	2015. 4
山中耕作	2004. 4	小川雄平	2015. 4
L. K. シーフト	2004. 10	藤野力	2015. 4
ハーシェル C. ジョンソン	2004. 10		

## 名誉博士

氏名	授与年月
J. ゴードン キングスレー	1989. 11
ジョナサン・マゴネット	2014. 5
マイケル・サンデル	2015. 5

2015(平成27)年度中の異動

名誉教授 ヴェラ L. キャンペルーガラット氏は2016(平成28)年3月15日逝去

#### (4) 学位授与

2016(平成28)年3月31日現在

報告番号	博士の専攻分野の名称	授与年月日	論文審査終了年月日
甲第27号	博士(神学)	平成28年2月18日	平成27年10月7日
甲第28号	博士(経済学)	平成28年3月18日	平成27年12月4日
甲第29号	博士(経済学)	平成28年3月18日	平成28年1月9日
乙第 3号	博士(国際文化)	平成27年8月3日	平成27年5月23日

### 3. データ

#### (1) 学生・生徒・児童・園児数

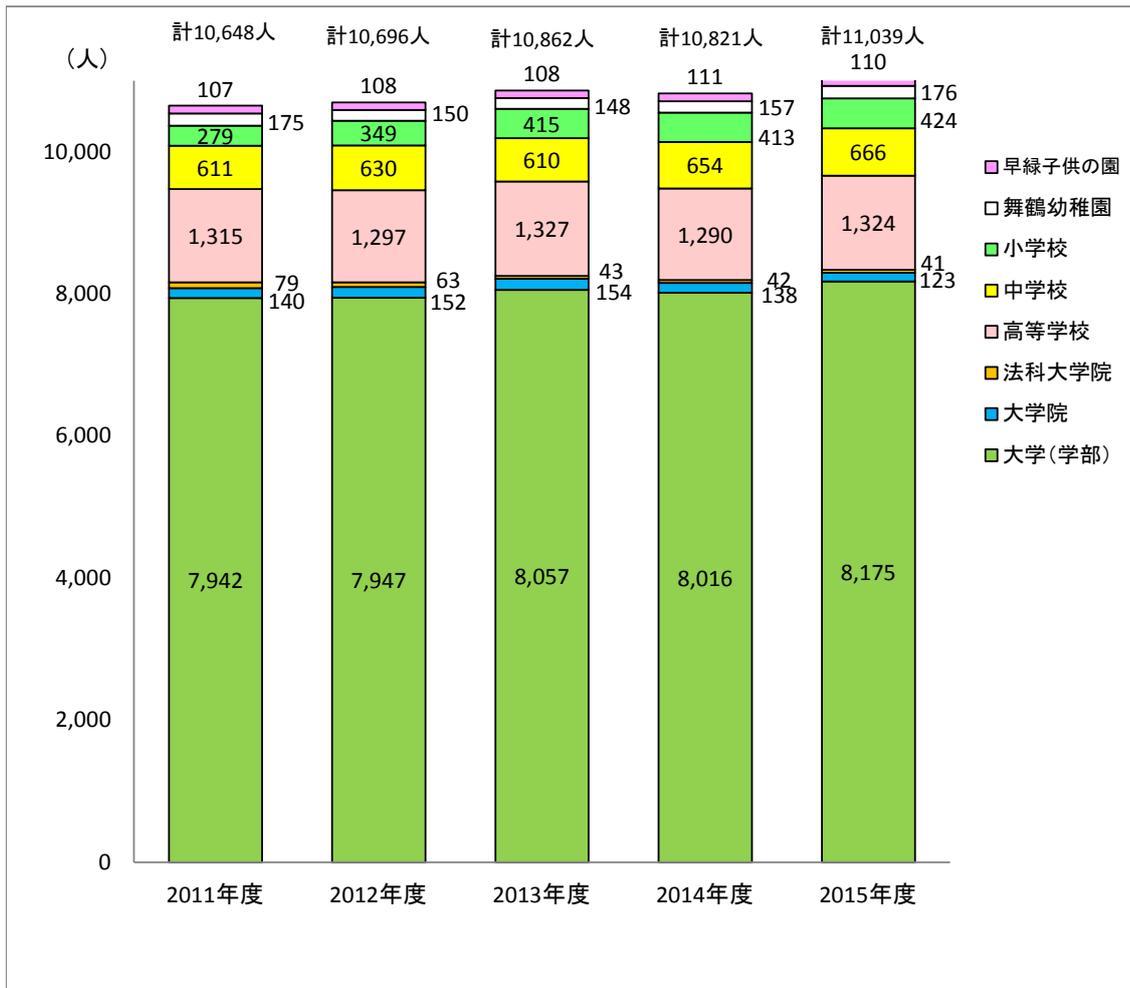
2015(平成27)年5月1日現在

学 校 ・ 学 部 ・ 学 科 等				収 容 定 員	入 学 者	総 数
大	神 学 部	神 学 科		40	10	48
	文 学 部	英 文 学 科		400	107	490
		外国語学科	英 語 専 攻	400	107	480
			フ ラ ン ス 語 専 攻	200	67	256
	商 学 部	商 学 科		600	186	751
		経 営 学 科		600	185	734
	経 済 学 部	経 済 学 科		800	257	988
		国 際 経 済 学 科		400	98	468
	法 学 部	法 律 学 科		1,080	328	1,334
		国 際 関 係 法 学 科		320	92	409
	人 間 科 学 部	児 童 教 育 学 科		400	118	470
		社 会 福 祉 学 科		460	143	561
		心 理 学 科		400	108	453
	国 際 文 化 学 部	国 際 文 化 学 科		600	167	733
( 小 計 )				6,700	1,973	8,175
学	法 学 研 究 科	法 律 学 専 攻	博 士 前 期	20	2	6
			博 士 後 期	9	0	3
	経 営 学 研 究 科	経 営 学 専 攻	博 士 前 期	20	9	25
			博 士 後 期	9	3	8
	文 学 研 究 科	英 文 学 専 攻	博 士 前 期	20	4	12
			博 士 後 期	9	1	4
		フ ラ ン ス 文 学 専 攻	博 士 前 期	10	0	3
			博 士 後 期	9	0	2
	経 済 学 研 究 科	経 済 学 専 攻	博 士 前 期	14	1	4
			博 士 後 期	9	0	3
	神 学 研 究 科	神 学 専 攻	博 士 前 期	14	4	7
			博 士 後 期	6	0	2
	人 間 科 学 研 究 科	人 間 科 学 専 攻	博 士 前 期	20	4	11
			博 士 後 期	9	1	7
国 際 文 化 研 究 科	国 際 文 化 専 攻	博 士 前 期	20	8	15	
		博 士 後 期	9	2	11	
( 小 計 )				207	39	123
大 学 院 法 務 研 究 科 ( 法 科 大 学 院 )			専 門 職 学 位	90	13	41
専 攻 科	神 ・ 商 ・ 経 済			30	1	1
選 科 生	神 学 部			若 干 名	1	5
留 学 生 別 科				30	52	52
〔 大 学 計 〕				7,057	2,079	8,397
高 等 学 校				1,350	444	1,324
中 学 校				640	226	666
小 学 校				420	75	424
舞 鶴 幼 稚 園				160	63	176
早 緑 子 供 の 園				90	16	110
〔 合 計 〕				9,717	2,903	11,097

注：大学学部の入学者数は1年次入試のみ。

学生・生徒・児童・園児数の推移

各年度 5月1日現在



※大学専攻科、選科生、留学生別科の学生数は含まない。

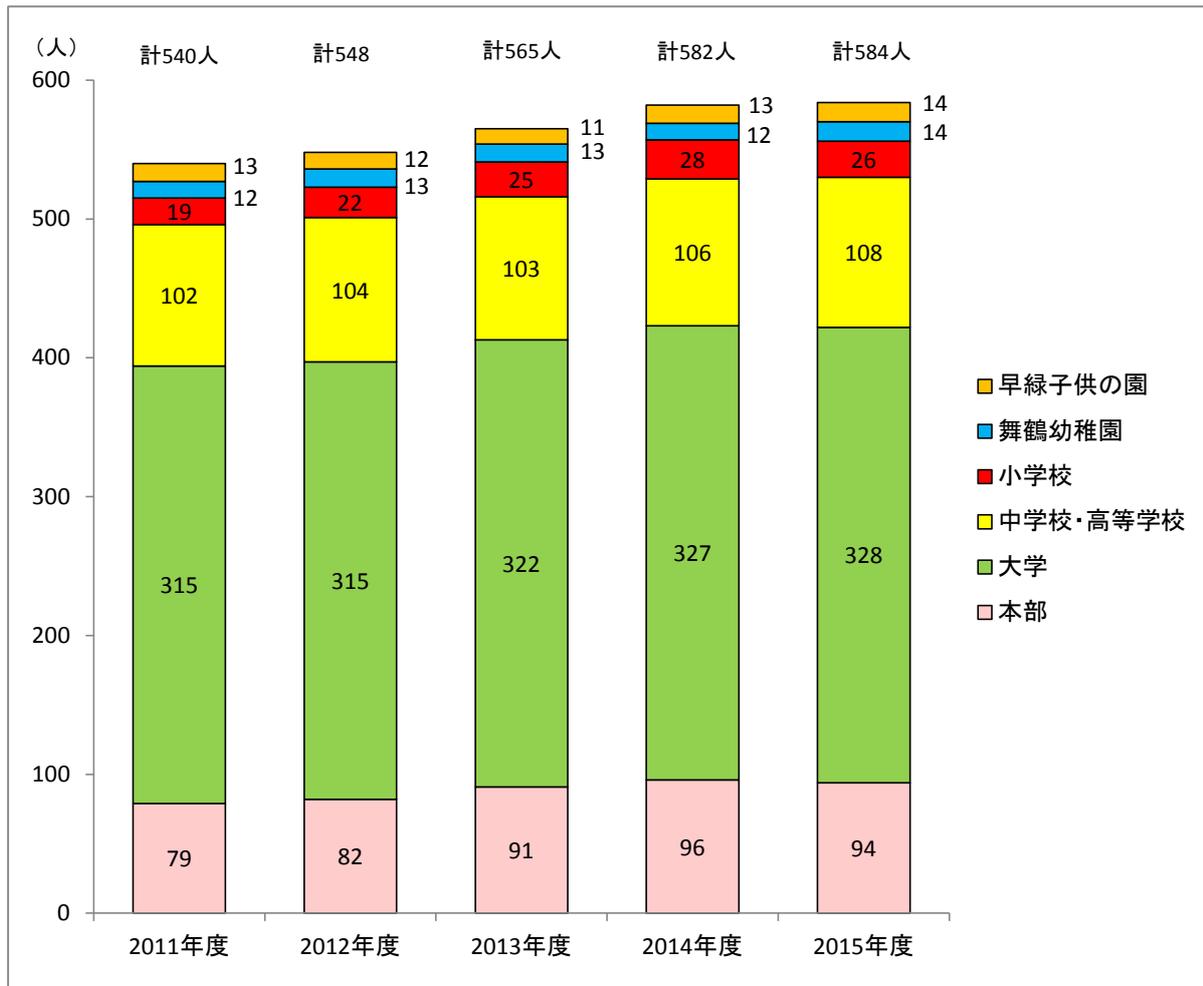
(2) 教職員数

2015(平成27)年5月1日現在

学 校 等	専任教員	特別教員	実務家教員 (法科大学 院)	常勤講師 (外国語教員 含む)	特任教員 (保育士含 む)	専任職員	嘱託職員	契約職員	計
本 部	-	-	-	-	-	69	12	13	94
大 学	195	7	5	7	-	79	19	16	328
高等学校	50	-	-	7	-	12	7	4	108
中 学 校	23	-	-	5	-				
小 学 校	16	-	-	4	-	1	5	-	26
舞鶴幼稚園	9	-	-	-	4	-	1	-	14
早緑子供の園	7	-	-	-	4	-	-	3	14
合計	300	7	5	23	8	161	44	36	584

教職員数の推移

各年度 5月1日現在



(3) 入学試験日程

2016(平成28)年度入学試験日程

入学試験等		願書受付期間	試験日	合格者発表等		
大	推 薦	指定校	2015(平成27)年 10月13日(火) ～10月23日(金)	2015(平成27)年 11月7日(土)	2015(平成27)年 11月19日(木)	
		独自指定校 (神・英文、フランス専・商・経・法・人間科・国文)				
		西南女学院高校				
		西南学院高校				
		公募制 (英文・フランス専・商・経・法)				2015(平成27)年 10月19日(月) ～10月30日(金)
	A O 選抜入試(英専)		2015(平成27)年 9月24日(木) ～10月2日(金)	2015(平成27)年 10月24日(土)	2015(平成27)年 10月29日(木)	
	指定校選抜入試 (英専)		2015(平成27)年10月13日(火) ～10月23日(金)	2015(平成27)年 11月7日(土)	2015(平成27)年 11月19日(木)	
	一 般	神学 経済学 文学 法学	2016(平成28)年 1月5日(火) ～1月19日(火)	2016(平成28)年 2月4日(木)	2016(平成28)年 2月20日(土)	
				2月5日(金)		
				2月6日(土)		
				2月8日(月)		
				2月9日(火)		
		人間科学部				
		商学 国際文化学 全学				
		一般・センター併用型入試		2016(平成28)年 1月5日(火) ～1月15日(金)	一般入試及びセンター 試験を受験	
大学入試センター試験利用入試 (前期)		2016(平成28)年 1月16日(土) ～1月17日(日)	2016(平成28)年 3月11日(金)			
大学入試センター試験利用入試 (後期)				2016(平成28)年 2月12日(金) ～3月1日(火)		
2年次転・編入		2015(平成27)年 9月24日(木) ～10月2日(金)	2015(平成27)年 10月24日(土)	2015(平成27)年 10月29日(木)		
3年次転・編入等 帰国生						
外国人		2015(平成27)年 9月28日(月) ～10月9日(金)	2015(平成27)年 11月13日(金)	2015(平成27)年 11月19日(木)		
大 学 院	博士前期 法学研究科 経営学研究科 文学研究科 経済学研究科 神学研究科 人間科学研究科 国際文化研究科	秋 期	一般・外国人等(国内居住者)及び社会人 2015(平成27)年 7月2日(木) ～7月17日(金)		2015(平成27)年 9月5日(土)	2015(平成27)年 9月9日(水)
			春 期	一般・外国人等(国内居住者)及び社会人 (文・国文の飛び級受付を含む)		
		2016(平成28)年 1月6日(水) ～1月18日(月)				
		飛び級(法・経営・経済・神) 2016(平成28)年 2月3日(水) ～2月10日(水)				
		外国人等(国外居住者)		2015(平成27)年10月2日(金) ～11月6日(金)	2016(平成28)年 3月3日(木)	
	2015(平成27)年10月2日(金) ～11月6日(金)					
	博士後期 法学研究科 経営学研究科 文学研究科 経済学研究科 神学研究科 人間科学研究科 国際文化研究科	春 期	一般・外国人等(国内居住者)及び社会人 2016(平成28)年 1月6日(水) ～1月18日(月)		2016(平成28)年 2月26日(金)	
			秋 期	外国人等(国外居住者)		
		2015(平成27)年10月2日(金) ～11月6日(金)				
		2015(平成27)年10月2日(金) ～11月6日(金)				

入学試験等		願書受付期間	試験日	合格者発表等
大 学 院	大 学 専門職学位課程 法務研究科(法科大学院)	法学未修者及び法学既修者 (8月試験)	法学未修者 2015(平成27)年 8月30日(日) 小論文	2015(平成27)年 9月11日(金)
		2015(平成27)年 7月21日(火) ～ 8月 5日(水)	法学既修者 2015(平成27)年 8月29日(土) 憲法、民法、刑法、商法	
		法学未修者(社会人・他学部 出身者試験)	法学未修者 2015(平成27)年 9月26日(土) 又は9月27日(日) 面接	2015(平成27)年 9月30日(水)
		2015(平成27)年 9月8日(火) ～ 9月17日(木)		
		法学未修者(適性第4部利用試験)		2015(平成27)年 10月6日(火)
		2015(平成27)年 9月24日(木) ～ 9月30日(水)		
		法学未修者及び法学既修者 (2月試験)	法学未修者 2016(平成28)年 2月14日(日) 小論文	2016(平成28)年 2月24日(水)
		2016(平成28)年 1月 8日(金) ～ 1月25日(月)	法学既修者 2016(平成28)年 2月13日(土) 憲法、民法、刑法、商法	
高 等 学 校	専 願 入 試	2016(平成28)年1月20日(水) ～1月22日(金)	2016(平成28)年 1月26日(火)	2016(平成28)年 1月28日(木)
	前 期 入 試	2016(平成28)年1月29日(金) ～2月3日(水)	2016(平成28)年 2月 5日(金)	2016(平成28)年 2月 9日(火)
	後 期 入 試	2016(平成28)年2月10日(水) ～2月12日(金)	2016(平成28)年 2月13日(土)	2016(平成28)年 2月16日(火)
中 学 校		2015(平成27)年12月18日(金) ～2016年(平成28)年1月7日(木)	2016(平成28)年 1月14日(木)	2016(平成28)年 1月16日(土)
小 学 校		2015(平成27)年 9月 7日(月) ～10月 2日(金)	2015(平成27)年 10月26日(月) ～11月6日(金) 面接 11月13日(金) 個別適性検査① 11月14日(土) 個別適性検査②及び 集団適性検査	2015(平成27)年 11月18日(水)
幼 稚 園		2015(平成27)年11月 1日(日)	2015(平成27)年 11月 2日(月) 面接	2015(平成27)年 11月 2日(月)

(4) 入学志願者数及び合格・許可者数  
2016(平成28)年度入学志願者数・合格者数

学 校 ・ 学 部 ・ 学 科 等			入学定員	入学志願者数	合格者・許可者数		
大 学 院	神 学 部	神 学 科	10	83	31		
	文 学 部	英 文 学 科	100	1,423	443		
		外 国 語 学 科	英 語 専 攻	100	1,305	355	
			フ ラ ンス 語 専 攻	50	589	196	
	商 学 部	商 学 科	150	2,868	668		
		経 営 学 科	150	2,211	603		
	経 済 学 部	経 済 学 科	200	2,931	930		
		国 際 経 済 学 科	100	1,495	450		
	法 学 部	法 律 学 科	270	2,667	976		
		国 際 関 係 法 学 科	80	1,001	314		
	人 間 科 学 部	児 童 教 育 学 科	100	1,533	435		
		社 会 福 祉 学 科	110	1,254	470		
		心 理 学 科	100	1,265	453		
	国 際 文 化 学 部	国 際 文 化 学 科	150	2,005	600		
	学 部 計			1,670	22,630	6,924	
大 学 院	法 学 研 究 科	博 士 前 期	10	秋 期	2	1	2
			3	春 期	4	1	0
	経 営 学 研 究 科	博 士 前 期	10	秋 期	1	1	5
			3	春 期	6	4	0
	文 学 研 究 科	英 文 学 専 攻	10	秋 期	1	0	3
			3	春 期	3	3	3
		フ ラ ンス 文 学 専 攻	5	秋 期	0	0	2
			3	春 期	3	2	0
	経 済 学 研 究 科	博 士 前 期	7	秋 期	0	0	3
			3	春 期	5	3	1
	神 学 研 究 科	博 士 前 期	7	秋 期	1	1	3
			2	春 期	2	2	0
	人 間 科 学 研 究 科	人 間 科 学 専 攻	10	秋 期	2	2	8
			3	春 期	7	6	1
		臨 床 心 理 学 専 攻	修 士	若 干 名	秋 期	—	—
	国 際 文 化 研 究 科	博 士 前 期	10	秋 期	4	3	7
			3	春 期	5	4	0
	大 学 院 計			92	58	43	
大 学 院 法 務 研 究 科 (法 科 大 学 院)		専 門 職 学 位	20	51	22		
専 攻 科	神 ・ 商 ・ 経 済		30	1	1		
選 科 生	神 学 部		若 干 名	2	1		
大 学 計			1,812	22,742	6,991		
高 等 学 校			450	707	497		
中 学 校			220	1,084	598		
小 学 校			70	119	67		
舞 鶴 幼 稚 園			160	55	51		
早 緑 子 供 の 園			90	72	16		
合 計			2,802	24,779	8,220		

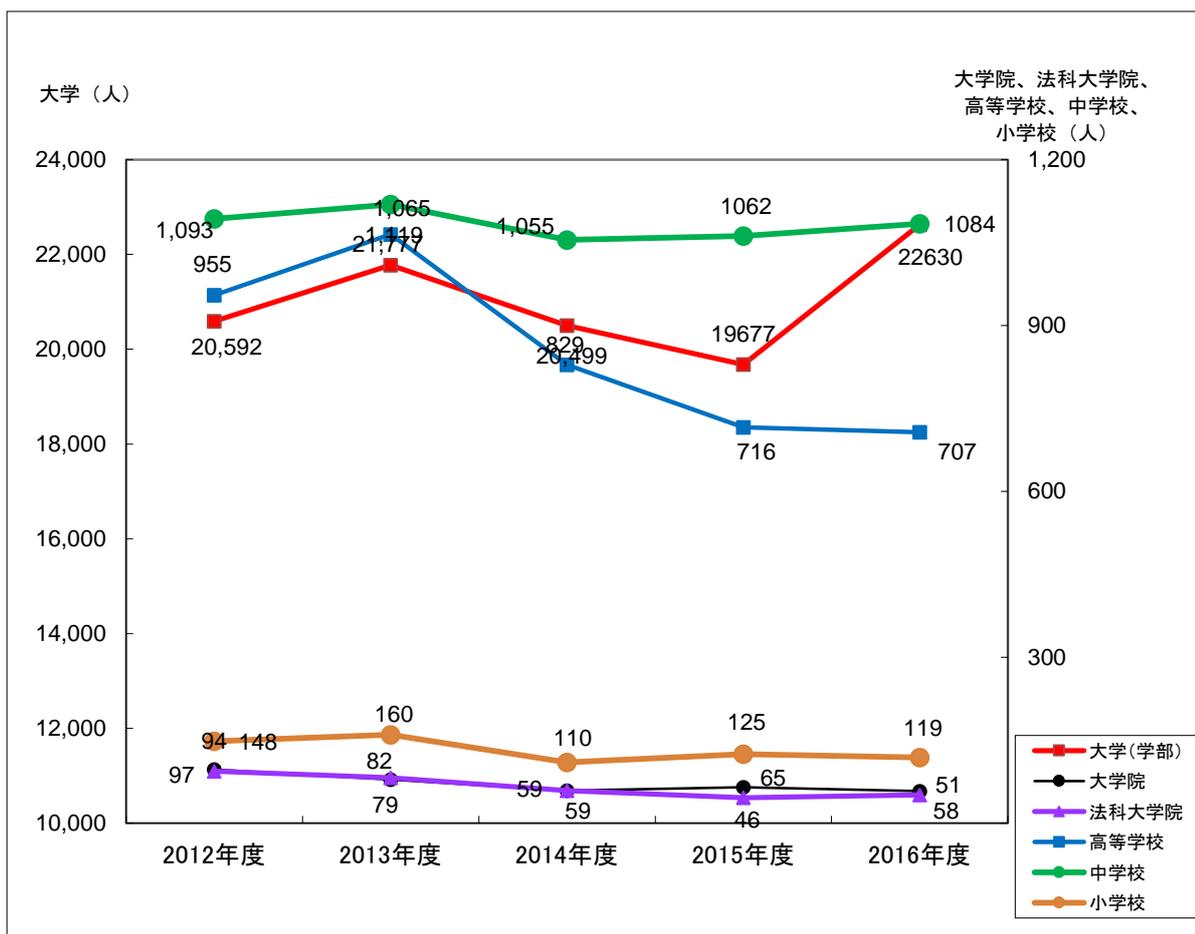
注1. 入学志願者数及び合格者数は1年次入試のみ。

注2. 大学学部については、指定校推薦(志願者207名、合格者207名)、西南高推薦(志願者63名、合格者63名)、各種推薦等入試(志願者400名、合格者341名)、帰国生入試(志願者5名、合格者2名)、外国人入試(志願者8名、合格者8名)を含む。

注3. 留学生別科は除く。

注4. 舞鶴幼稚園及び早緑子供の園の入学定員は収容定員を示す。

## 入学志願者数の推移



注1. 入学志願者数は、1年次入試のみ。

注2. 大学学部については、各種推薦等入試、帰国子女入試、外国人入試の志願者数を含む。

注3. 留学生別科は除く。

(5) 卒業生数  
2015(平成27)年度卒業生数

2016(平成28)年3月31日現在

2015(平成27)年度卒業生等				累 計	廃止学校・学部・学科等卒業生累計					
学校・学部・学科等			人 員							
大 学 部	神 学 部	神 学 科	14	441	文 商 学 部	神学専攻	20			
		英 文 学 科	114	6,923		英文学専攻	88			
	文 学 部	外 国 語 学 科	英 語 専 攻	116	5,495	文 学 部	商学専攻	473		
			フ ラ ン ス 語 専 攻	55	2,569		神 学 科	113		
	商 学 部	商 学 科	172	13,856	商 学 部	英 文 学 科	夜 間	78		
		経 営 学 科	174	9,395		商 学 科	夜 間	674		
	経 済 学 部	経 済 学 科	235	14,597	文 学 専 攻 科	経 済 学 科		218		
		国 際 経 済 学 科	92	2,722		神学専攻		53		
	法 学 部	法 律 学 科	337	15,450	文 学 専 攻 科	英 文 学 専 攻		94		
		国 際 関 係 法 学 科	93	1,821		英 語 専 攻		14		
人 間 科 学 部	児 童 教 育 学 科	118	4,772	商 学 専 攻 科	フ ラ ン ス 語 専 攻		11			
	社 会 福 祉 学 科	115	2,035		経 済 学 専 攻		2			
	心 理 学 科	115	115		経 営 学 専 攻		7			
国 際 文 化 学 部	国 際 文 化 学 科	168	5,357	短 期 大 学 部	英 語 科 第 二 部		324			
( 学 部 計 )			1,918		85,548	商 学 科 第 二 部		1,576		
大 学 院	博 士 前 期 修 士	法 学 研 究 科	4		228	高 等 学 校	児 童 教 育 科		1,598	
		経 営 学 研 究 科	11		285		早 緑 幼 稚 園	児 童 専 攻 科		0
		文 学 研 究 科	英 文 学 専 攻	5	163			高 等 学 校	定 時 制	830
		フ ラ ン ス 文 学 専 攻	1	61	早 緑 幼 稚 園				412	
		経 済 学 研 究 科	2	93	西 南 聖 書 学 院			41		
		神 学 研 究 科	2	45	( 廃 止 学 校 等 計 )			6,647		
		人 間 科 学 研 究 科	4	49	旧 制 学 校 卒 業 生 累 計					
		国 際 文 化 研 究 科	2	173						
( 博 士 前 期 ・ 修 士 計 )			31	1,097						
博 士 後 期	法 学 研 究 科	1	41							
	経 営 学 研 究 科	1	56							
	文 学 研 究 科	英 文 学 専 攻	0	31						
		フ ラ ン ス 文 学 専 攻	0	18						
	経 済 学 研 究 科	2	2							
	神 学 研 究 科	0	1							
	人 間 科 学 研 究 科	0	6							
国 際 文 化 研 究 科	1	39								
( 博 士 後 期 計 )			5	194						
( 大 学 院 計 )			36	1,291						
法 務 研 究 科 ( 法 科 大 学 院 )			11	259						
専 攻 科	神 学 専 攻 科	神 学 専 攻	1	270	高 等 学 部	英 文 科	566			
	商 学 専 攻 科	商 学 専 攻	0	116		研 究 科	11			
	経 済 学 専 攻 科	経 済 学 専 攻	0	108	経 済 専 門 学 校	補 習 科	22			
	( 専 攻 科 計 )			1		494	専 門 学 校 一 部	経 済 科	2,223	
選 科 生	神 学 部	1	93	専 門 学 校 一 部	商 科					
留 学 生 別 科 ( 終 了 者 )		87	1,014		神 学 科 本 科		30			
《 大 学 計 》			2,054	88,699	専 門 学 校 一 部	神 学 科 選 科	12			
高 等 学 校	全 日 制	452	25,676	専 門 学 校 二 部	英 文 科	55				
中 学 校		198	13,075	専 門 学 校 二 部	経 済 科	142				
小 学 校		69	196		実 務 科	159				
舞 鶴 幼 稚 園		56	5,318	専 門 学 校	別 科	271				
早 緑 子 供 の 園		24	911	児 童 教 育 科		4				
合 計			2,853	133,875	( 旧 制 学 校 等 計 )			6,238		
合 計			2,853	133,875	合 計			12,885		
総 合 計					合 計			146,760		

注1. 大学院博士後期課程は、単位修得満期退学者数を示す。

注2. 留学生別科は、2014-2015年度(通年・後期)及び2015-2016年度(前期)の留学生別科終了者数を示す。

(6) 大学卒業生就職状況

2016(平成28)年5月1日現在

A. 就職状況

区 分		神学部	文学部	商学部	経済学部	法学部	人間科学部	国際文化学部	合 計	
卒業生総数		14	285	346	327	430	348	168	1,918	
卒業後の進路	就職者数	自家営業	2	3	2	3	1		11	
		自家営業以外	8	217	304	277	335	293	140	1,574
	進学者数	(大学院)	2	5	4	4	10	11	3	39
		(大学院以外)	1		2		1	2		6
上記以外		3	61	33	44	81	41	25	288	
就職希望者数		11	233	312	288	362	309	149	1,664	

注1) 就職者数は、正式に「進路報告書」を提出した者および就職課で把握している内定者の合計人数

注2) 進学者数(大学院)は、大学院、法科大学院に進学した者の人数

注3) 進学者数(大学院以外)は、大学学部・学科、専攻科・別科に進学した者の人数

注4) 上記以外は、進学準備者、受験準備者、専修学校等入学者、アルバイト・パート、就職未決定者、進路未報告者等の合計人数

B. 業種別就職状況

区 分	神学部	文学部	商学部	経済学部	法学部	人間科学部	国際文化学部	合 計
農業、林業								
漁業								
鉱業、採石業、砂利採取業								
建設業		3	12	8	11	6	5	45
製造業	2	14	26	29	28	13	12	124
電気・ガス・熱供給・水道業		1	1	5	3		1	11
情報通信業		18	27	24	26	19	10	124
運輸業、郵便業		37	11	11	12	5	10	86
卸売業、小売業	1	30	64	46	51	25	23	240
金融業、保険業	1	37	75	89	83	41	28	354
不動産業、物品賃貸業		8	23	14	15	7	10	77
学術研究、専門・技術サービス業		13	15	9	15	12	5	69
宿泊業、飲食サービス業		4	2			1	3	10
生活関連サービス業、娯楽業		10	9	4	5	9	10	47
教育、学習支援業	1	6	2	5	3	29	6	52
医療、福祉	2	2	2	3	10	46	3	68
複合サービス事業		2	11	8	4	8	4	37
サービス業(他に分類されないもの)		10	18	7	9	14	8	66
公務(他に分類されるものを除く)	1	22	6	15	60	58	2	164
上記以外のもの(自家営業・分類不能の産業)		2	3	2	3	1		11
合 計	8	219	307	279	338	294	140	1,585

注1) 業種別就職状況は、正式に「進路報告書」を就職課に提出した者および自家営業の合計人数とし、就職課で把握している内定者は除く。

### Ⅲ. 財務の概要

2015(平成27)年度の予算の執行状況について、その資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財務比率などの推移比較表等は以下のとおりである。

#### 1. 資金収支計算書

〈総括表〉 (単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	9,607	9,556	52
手数料収入	504	562	△ 59
寄付金収入	160	400	△ 239
補助金収入	1,308	1,280	28
資産売却収入	2,000	2,000	0
付随事業・収益事業収入	301	309	△ 7
受取利息・配当金収入	162	177	△ 15
雑収入	266	309	△ 43
前受金収入	1,680	1,754	△ 75
その他の収入	4,317	5,297	△ 980
資金収入調整勘定	△ 1,948	△ 1,997	49
当年度資金収入合計	18,357	19,646	△ 1,289
前年度繰越支払資金	6,343	6,343	
収入の部合計	24,701	25,989	△ 1,289
人件費支出	7,257	7,239	17
教育研究経費支出	2,755	2,319	436
管理経費支出	928	831	97
施設関係支出	2,605	2,070	535
設備関係支出	861	764	96
資産運用支出	3,719	3,482	237
その他の支出	2,743	3,386	△ 643
予備費	36	36	
資金支出調整勘定	△ 501	△ 584	83
当年度資金支出合計	20,403	19,509	894
翌年度繰越支払資金	4,298	6,481	△ 2,183
支出の部合計	24,701	25,989	△ 1,289
当年度資金収支差額	△ 2,046	137	△ 2,183

入学検定料が増加した。

創立100周年記念寄付金等が増加した。

有価証券の償還が行われた。

退職金団体からの交付金が増加した。

預り金の受入額が増加した。

資金の受入が翌年度になるもの又前年度に資金の受入が済んでいるものを控除している。

物品調達や業務委託内容の見直し等、経費削減に努めている。

新図書館建設の支払の一部が翌年度になった。

預り金の支出額が増加した。

資金の支払が翌年度になるもの又前年度に資金の支払が済んでいるものを控除している。

前年度繰越支払資金より1億3700万円上回っている。有価証券の償還等により現金預金有高が増加した。

経常的収支計算 (単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
経常的収入(網掛け科目)	12,309	12,592	△ 283
経常的支出(網掛け科目)	10,941	10,390	550
経常的収支差額	1,368	2,202	△ 833

※表中の金額はいずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

## 2. 活動区分資金収支計算書

〈総括表〉 (単位:百万円)

科目		金額
教育活動による資金収支	収入	
	学生生徒等納付金収入	9,556
	手数料収入	562
	特別寄付金収入	15
	一般寄付金収入	48
	経常費等補助金収入	1,267
	付随事業収入	309
	雑収入	309
	教育活動資金収入計	12,065
	支出	
	人件費支出	7,239
	教育研究経費支出	2,319
	管理経費支出	831
	教育活動資金支出計	10,390
差引	1,675	
調整勘定等	41	
教育活動資金収支差額 ①	1,716	
施設整備等活動による資金収支	収入	
	施設設備寄付金収入	337
	施設設備補助金収入	13
	第2号基本金引当特定資産取崩収入	1,085
	施設・設備拡充引当特定資産取崩収入	100
	施設整備等活動資金収入計	1,535
	支出	
	施設関係支出	2,070
	設備関係支出	764
	第2号基本金引当特定資産繰入支出	1,195
	施設整備等活動資金支出計	4,029
差引	△ 2,494	
調整勘定等	429	
施設整備等活動資金収支差額 ②	△ 2,065	
小計(③=①+②)	△ 350	

(単位:百万円)

科目		金額
その他の活動による資金収支	収入	
	有価証券売却収入	2,000
	退職給与引当特定資産取崩収入	369
	その他の収入	3,487
	小計	5,856
	受取利息・配当金収入	177
	その他の活動資金収入計	6,033
	支出	
	有価証券購入支出	1,706
	第3号基本金引当特定資産繰入支出	201
退職給与引当特定資産繰入支出	380	
その他の支出	3,260	
小計	5,546	
借入金等利息支出	0	
その他の活動資金支出計	5,546	
差引	487	
調整勘定等	0	
その他の活動資金収支差額 ④	487	
支払資金の増減額(⑤=③+④)	137	
前年度繰越支払資金	6,343	
翌年度繰越支払資金	6,481	

※表中の金額はいずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

### 3. 事業活動収支計算書

〈総括表〉 (単位:百万円)

科目		予算	決算	差異
教育活動収支	収入			
	学生生徒等納付金	9,607	9,556	52
	手数料	504	562	△ 59
	寄付金	160	63	97
	経常費等補助金	1,306	1,267	39
	付随事業収入	301	309	△ 7
	雑収入	267	312	△ 44
	教育活動収入計	12,146	12,068	78
	支出			
	人件費	7,257	7,250	7
	教育研究経費	3,691	3,302	389
(内、減価償却額)	939	983	△ 44	
管理経費	1,038	977	61	
(内、減価償却額)	149	145	4	
教育活動支出計	11,986	11,529	457	
教育活動収支差額	160	539	△ 379	
教育活動外収支	収入			
	受取利息・配当金	162	177	△ 15
	教育活動外収入計	162	177	△ 15
	支出			
	借入金等利息	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0	
教育活動外収支差額	162	177	△ 15	
経常収支差額	322	716	△ 395	
特別収支	収入			
	その他の特別収入	2	363	△ 360
	特別収入計	2	363	△ 360
	支出			
資産処分差額	96	139	△ 42	
特別支出計	96	139	△ 42	
特別収支差額	△ 94	224	△ 318	
予備費	115		115	
基本金組入前当年度収支差額	113	940	△ 827	
基本金組入額合計	△ 2,327	△ 1,584	△ 743	
当年度収支差額	△ 2,214	△ 644	△ 1,571	
前年度繰越収支差額	△ 892	△ 892	0	
基本金取崩額	0	0	△ 0	
翌年度繰越収支差額	△ 3,106	△ 1,535	△ 1,571	
(参考)				
事業活動収入計	12,310	12,608	△ 298	
事業活動支出計	12,197	11,668	530	

寄贈図書、寄贈備品、施設設備拡充のための寄付金を受け入れた。

建物、構築物、機器備品等を除却した。

事業活動収入決算額126億800万円に対し、事業活動支出決算額116億6800万円で、単年度では9億4000万円の収入超過となる。

当年度収支差額に前年度繰越収支差額を加え、△15億3500万円となる。予算額より15億7100万円好転した。

※表中の金額はいずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

#### 4. 貸借対照表

〈総括表〉 (単位:百万円)

科 目		本年度末	前年度末	増減
資 産	固定資産	59,999	58,371	1,629
	有形固定資産	41,223	39,644	1,579
	特定資産	11,694	11,472	222
	その他の固定資産	7,083	7,255	△ 173
	流動資産	7,521	7,710	△ 188
	資産計	67,521	66,080	1,440
負 債	固定負債	3,448	3,135	313
	流動負債	2,867	2,681	187
	負債計	6,316	5,816	500
純 資 産	基本金	62,740	61,156	1,584
	繰越収支差額	△ 1,535	△ 892	△ 643
	純資産計	61,205	60,265	940
(参考)				
	減価償却額の累計額	13,188	12,534	654
	基本金未組入額	530	102	428

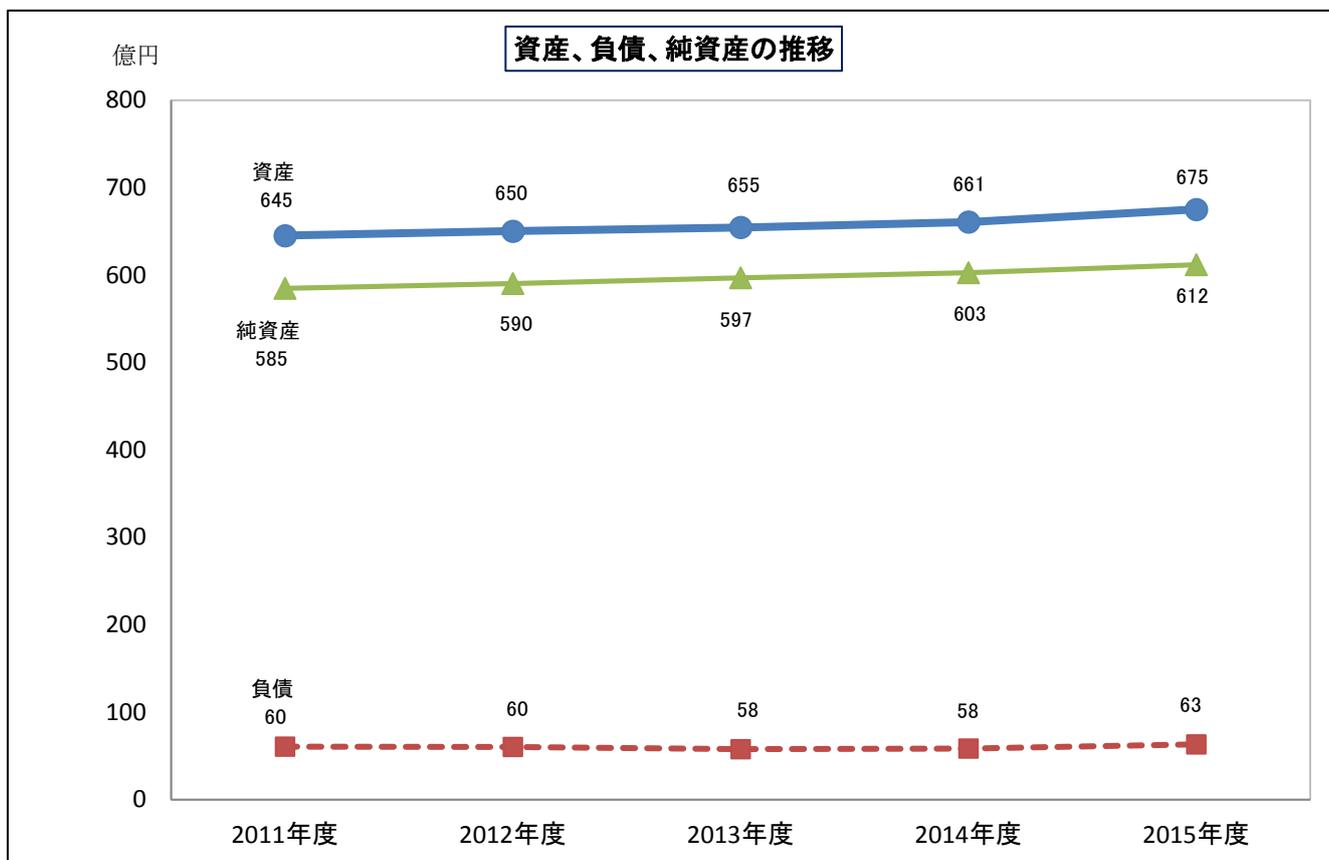
百年館新築等による増加。

長期リース資産の取得による未払金の増加。

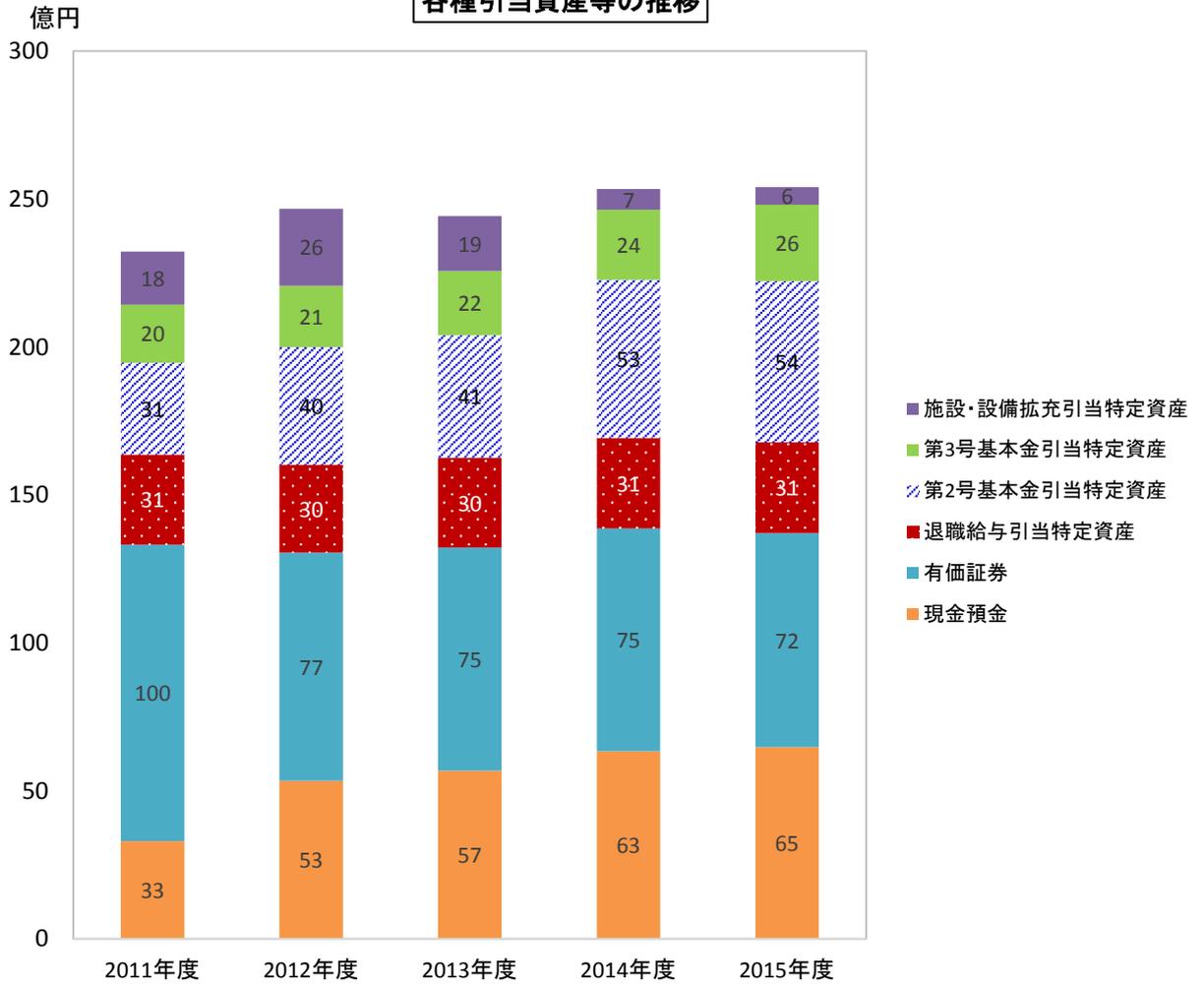
取得した固定資産に係る基本金及び第2号基本金、第3号基本金の組入を行った。

※表中の金額はいずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

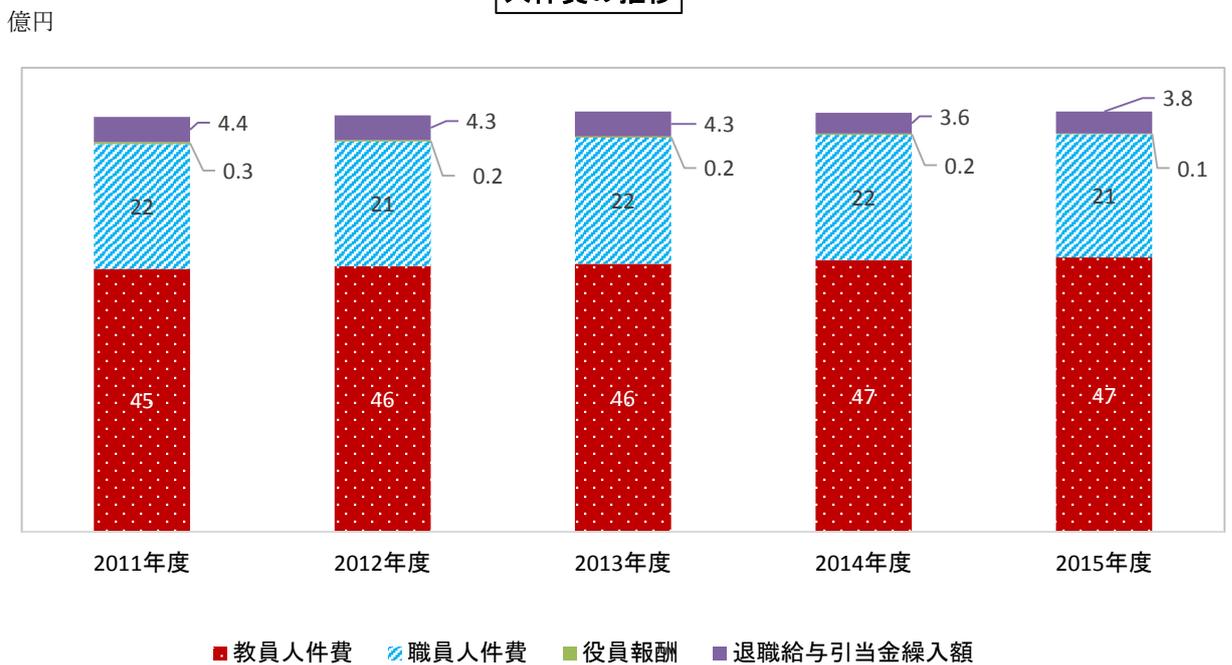
#### 5. 財務比率などの推移

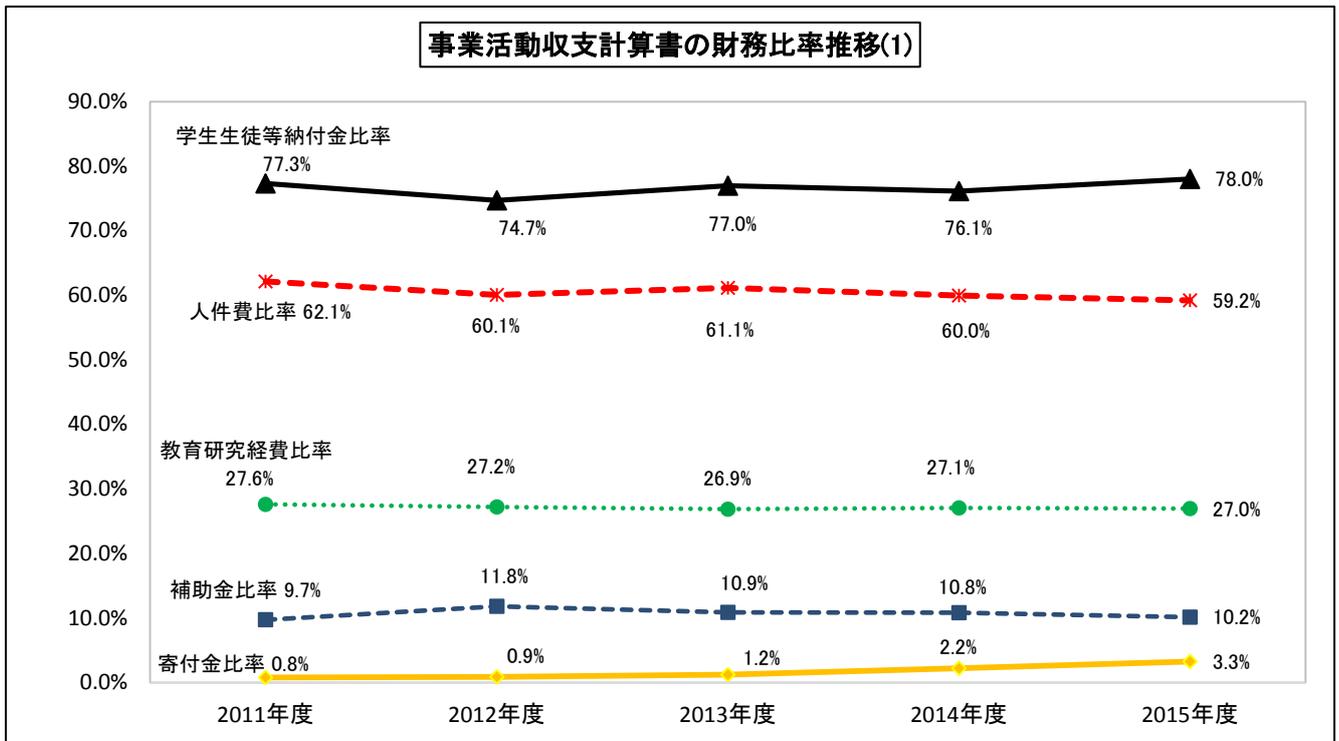
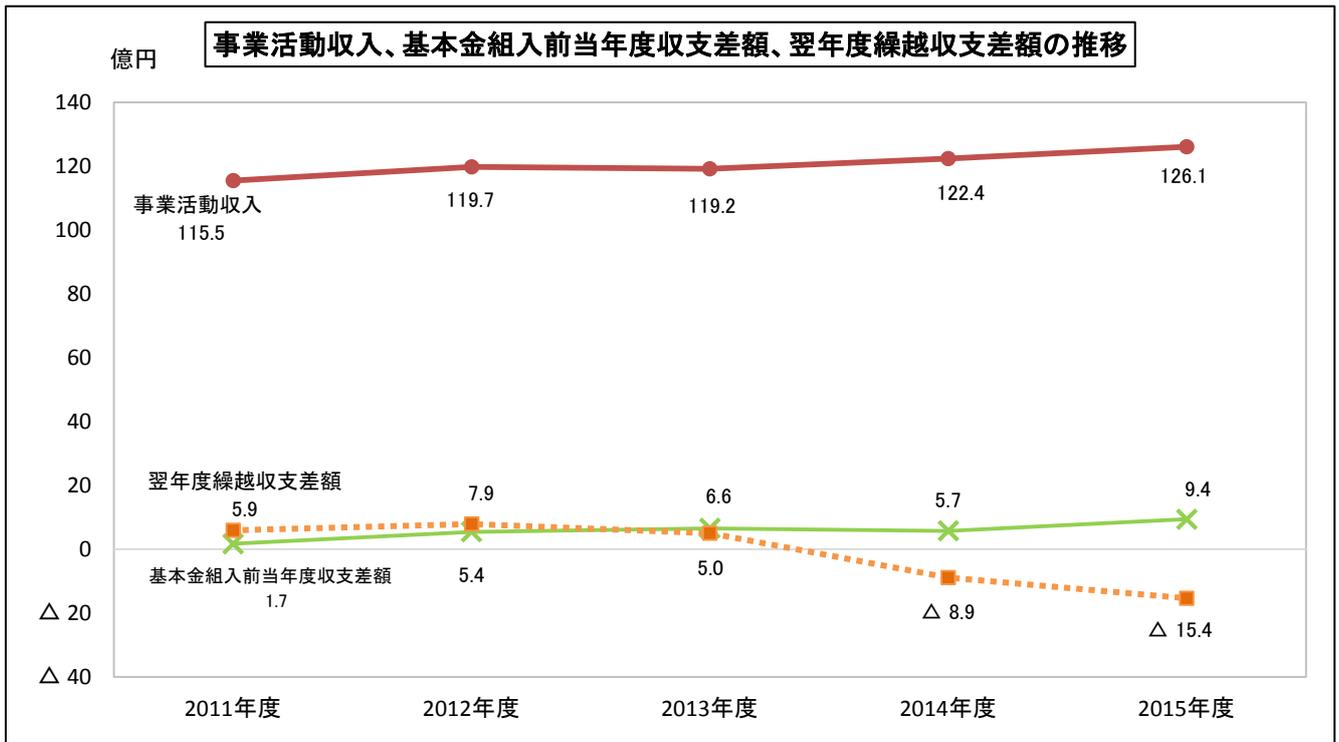


各種引当資産等の推移



人件費の推移

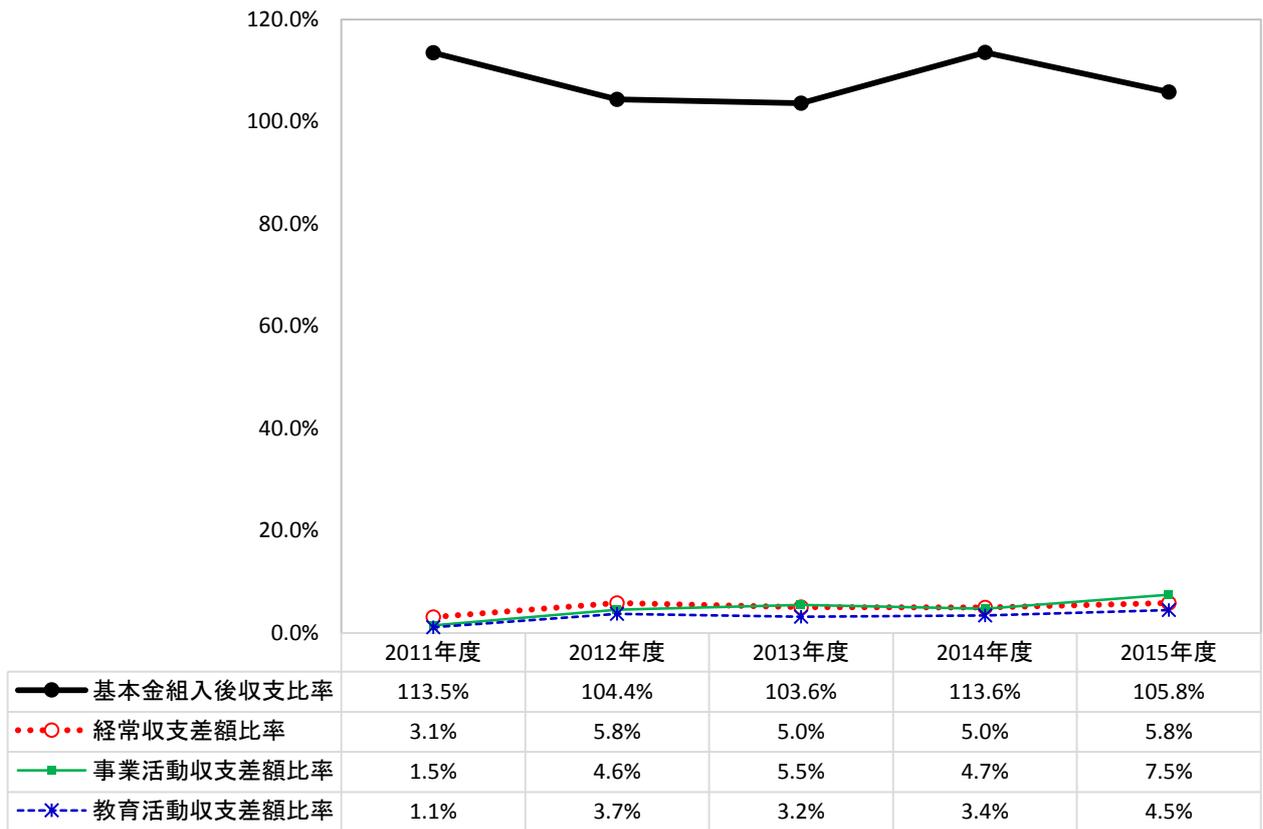




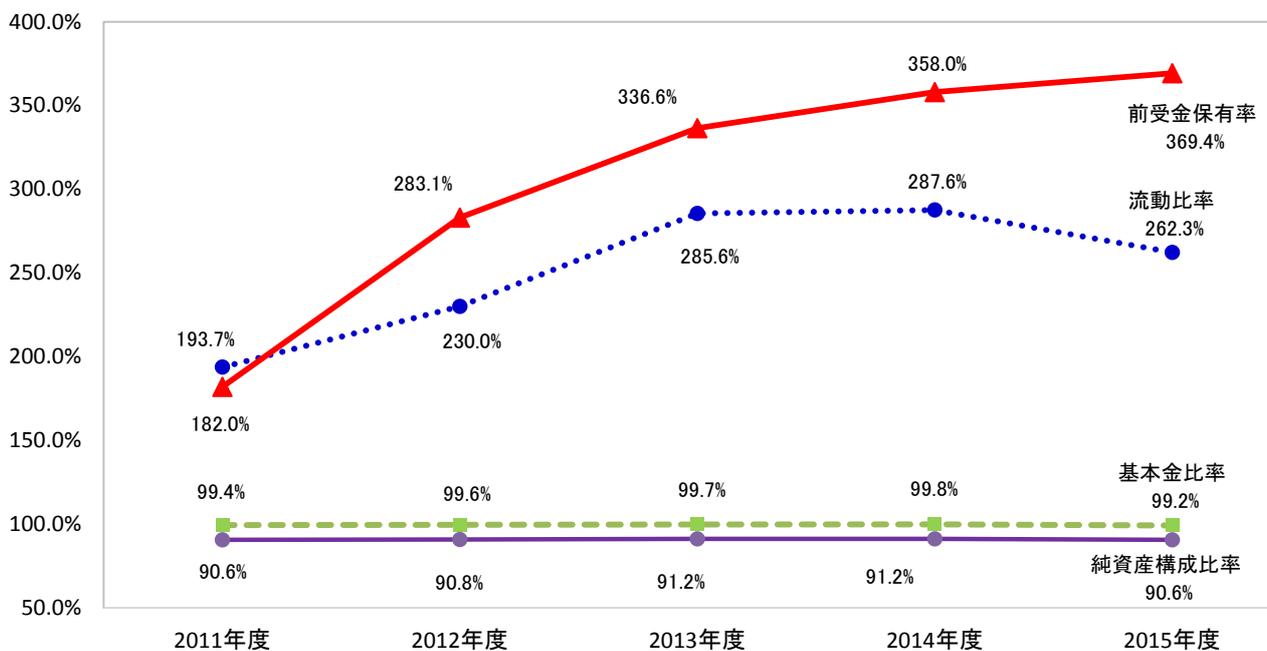
学生生徒等納付金比率、人件費比率、教育研究経費比率は、分母が、旧比率では帰属収入、新比率では経常収入となっており、2011年度から2014年度までは、新比率に合わせて算出している。

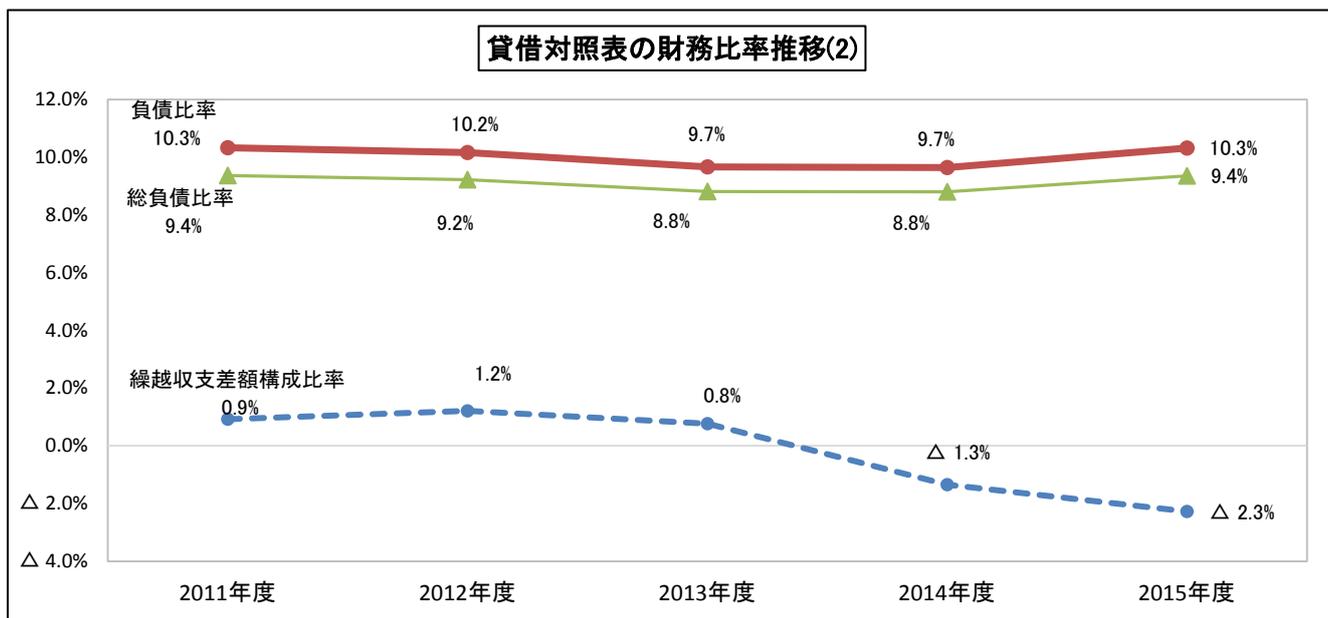
なお、帰属収入とは、事業活動収入のことであり、経常収入と特別収入を合算したものである。

事業活動収支計算書の財務比率推移(2)



貸借対照表の財務比率推移(1)





## 6. 財務比率比較表

	比率名	算式	西南学院		全国平均	同系統	評価
			2015年度	2014年度	2014年度	2014年度	
事業活動収支計算書関係比率	1 人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	59.2%	60.0%	-	-	▼
	2 人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	75.9%	78.8%	73.3%	76.3%	▼
	3 教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	27.0%	27.1%	-	-	△
	4 管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	8.0%	8.0%	-	-	▼
	5 借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.0%	0.0%	-	-	▼
	6 事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	7.5%	4.7%	7.2%	4.1%	△
	7 基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	105.8%	113.6%	107.5%	111.7%	▼
	8 学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	78.0%	76.1%	-	-	～
	9 寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	3.3%	2.2%	3.9%	1.9%	△
	9 経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	0.5%	2.2%	-	-	△
	10 補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	10.2%	10.8%	12.2%	14.1%	△
	10 経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	10.3%	10.9%	-	-	△
	11 基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	12.6%	16.1%	13.6%	14.2%	△
	12 減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	9.8%	10.3%	-	-	～
13 経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	5.8%	5.0%	-	-	△	
14 教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	4.5%	3.4%	-	-	△	

貸借対照表関係比率	1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	88.9%	88.3%	86.4%	85.9%	▼
	2	有形固定資産構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	61.1%	60.0%	61.3%	62.1%	▼
	3	特定資産構成比率	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	17.3%	17.4%	-	20.0%	～
	4	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	11.1%	11.7%	13.6%	14.1%	△
	5	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債+純資産}}$	5.1%	4.7%	7.2%	6.5%	▼
	6	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債+純資産}}$	4.2%	4.1%	5.4%	5.3%	▼
	7	内部留保資産比率	$\frac{\text{運用資産}-\text{総負債}}{\text{総資産}}$	28.3%	29.6%	-	23.3%	△
	8	運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産}-\text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	2.1年	2.2年	-	-	△
	9	純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	90.6%	91.2%	87.5%	88.2%	△
	10	繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債+純資産}}$	-2.3%	-1.3%	-12.9%	-13.9%	△
	11	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	98.0%	96.9%	98.8%	97.4%	▼
	12	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}}$	92.8%	92.1%	91.3%	90.7%	▼
	13	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	262.3%	287.6%	253.2%	266.5%	△
	14	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	9.4%	8.8%	12.5%	11.8%	▼
	15	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	10.3%	9.7%	14.3%	13.4%	▼
	16	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	369.4%	358.0%	344.6%	354.8%	△
	17	退職給与引当特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	100.0%	100.0%	67.6%	69.3%	△
	18	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.2%	99.8%	97.1%	97.6%	△
	19	減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額(図書除く)}}{\text{減価償却資産取得価額(図書除く)}}$	40.5%	39.8%	48.4%	49.5%	～
	20	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	104.6%	108.7%	-	78.3%	△

- ・(資料)平成27年度版 今日の私学財政(日本私立学校振興・共済事業団)
- ・「全国」は医歯系法人を除く、「同系統」は「文他複数学部;149法人」である。
- ・(評価) △ 高いほうがよい ▼ 低いほうがよい ～ どちらともいえない

## 7. 学生生徒等納付金一覧表

項 目	大学院	大学	高等学校	中学校	小学校	幼稚園
入 学 金 ( 入 学 申 込 金 )	135,000 <135,000>	200,000	40,000	100,000	100,000	80,000
施 設 拡 充 費			250,000	200,000	200,000	30,000
( 入 学 時 )	135,000 <135,000>	200,000	290,000	300,000	300,000	110,000
授 業 料	576,000 <750,000>	750,000	360,000 (30,000)	360,000 (30,000)	540,000 (45,000)	294,000 (24,500)
施 設 費	130,000 <130,000>	130,000 【170,000】	90,000 (7,500)	90,000 (7,500)		30,000 (2,500)
教 育 充 実 費		【40,000】			60,000 (5,000)	
保 育 充 実 費						54,000 (4,500)
空 調 費			12,000 (1,000)	12,000 (1,000)		
計 ( 毎 年 )	706,000 <880,000>	880,000 【960,000】	462,000 (38,500)	462,000 (38,500)	600,000 (50,000)	378,000 (31,500)
合 計	841,000 <1,015,000>	1,080,000 【1,160,000】	752,000	762,000	900,000	488,000

【 】内の数字は2014年度及び2015年度新入生の納付金を示す。

< > 内の数字は法科大学院の納付金を示す。

( )内の数字は毎月の納付金を示す。

卒業延期生の授業料は、一単位当たりの授業料(学部:@24,000円、大学院:@40,000円、法科大学院:@23,000円)×不足単位数で算定する。

(半期上限は、学部375,000円、大学院288,000円、法科大学院375,000円)

休学時は、在籍基本料を年間120,000円(半期60,000円)徴収する。(授業料、施設費は徴収しない)

本学からの大学院入学生(法科大学院生も含む)については、入学金を徴収しない。

中・高一貫教育に伴い本学院中学校から高等学校へ入学する者については施設拡充費200,000円を徴収し、入学金は徴収しない。

学校法人西南学院 所在地

学院本部、西南学院大学（大学院・法務研究科を含む）

〒814-8511

福岡市早良区西新六丁目2番92号 電話 092-823-3201

学校法人 <http://www.seinan-gakuin.jp/>

大 学 <http://www.seinan-gu.ac.jp/>

西南学院中学校・高等学校

〒814-8512

福岡市早良区百道浜一丁目1番1号 電話 092-841-1317

<http://www.seinan.ed.jp/hs/>

西南学院小学校

〒814-8513

福岡市早良区百道浜一丁目1番2号 電話 092-841-1600

<http://www.seinan.ed.jp/es/>

舞鶴幼稚園

〒810-0053

福岡市中央区鳥飼一丁目6番1号 電話 092-751-6650

<http://www.seinan-gu.ac.jp/youchien/>

早緑子供の園

〒810-0053

福岡市中央区鳥飼一丁目6番5号 電話 092-761-3408

<http://www.seinan-gu.ac.jp/hoikuen/>